【資料 7】

平成２８年度

紀の川市市民意識調査報告書

平成２８年　１０月

紀　　の　　川　　市

目次

１章　調査の概要 3
　１．調査の目的 3
　２．調査の概要 3
　３．留意事項 3
　４．回答者の属性について（問６（１）～（１０）） 4
　　（１）性別 4
　　（２）年齢 4
　　（３）居住地 5
　　（４）紀の川市（合併前の旧町を含む）での居住年数 5
　　（５）職業 6
　　（６）家族構成 6
　　（７－１）子どもの有無 7
　　（７－２）養育中の子どもの内訳 7
　　（８）同居する高齢者の有無（自分以外） 8
　　（９－１）長期的な病気・障害の有無 8
　　（９－２）同居の家族の長期的な病気・障害の有無 9
　　（１０）通勤・通学先や買物などの主な行き先 9
２章　調査結果 12
　１．満足率（問３） 12
　２．重要度（問２） 15
　３．現在の生活の実感について（問１） 20
　　（１）住みよさ 20
　　（２）定住志向 21
　４．日常生活での取り組みについて 22
　　（１）行政参画の手法 22
　　（２）ボランティアへの参加経験 23
　　（３）参加しているボランティアの種類 24
　　（４）自治区への加入 25
　　（５）自治区に加入していない理由 26
　　（６）自主防災組織の有無と活動への参加 27
　　（７）避難場所と避難経路 28
　　（８）緊急時の備蓄の有無 29
　　（９）車や自転車で走行中、または徒歩で移動中に危険を感じたことの有無 30
　　（１０）移動中に危険を感じた理由 31
　　（１１）犯罪抑制のために効果的だと思われるもの 32
　　（１２）１年間での夜間・休日受診の有無 33
　　（１３）休日や夜間の医療機関の受け入れ体制に対して満足している人の割合 35
　　（１４）休日や夜間の医療機関の受け入れ体制に不満を感じている理由 37
　　（１５）介護保険・高齢者福祉サービスの受給 38
　　（１６）介護が必要になった時に希望するサービス 39
　　（１７）子育て環境・支援体制 41
　　（１８）子育て環境で効果的なもの 43
　　（１９）児童生徒数が減少し続けた場合の教育課題 45
　　（２０）趣味の会、グループ活動、自主的な学習への取り組み 47
　　（２１）今後学習したい内容 48
　　（２２）スポーツをする頻度 50
　　（２３）スポーツをする際に利用する施設や場所 51
　　（２４）公共交通機関の利用頻度 52
　　（２５）よく利用する公共交通機関 54
　　（２６）公共交通機関を利用しない理由 55
　　（２７）空き家の状況 56
　　（２８）空き家増加による影響 57
　　（２９）フルーツを食べる頻度 58
　　（３０）「フルーツのまち」というイメージの有無 59
　　（３１）市の財政状況 60
　　（３２）市の行財政改革 61
　　（３３）長期総合計画について知っているか 63
　　（３４）市の情報を入手する媒体 65
　　（３５）充実・強化する情報発信媒体 66
　５．紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（問５） 67
　　（１）地域資源を活かした魅力あるまち 67
　　（２）魅力ある仕事・職場のあるまち 69
　　（３）若い世代から選ばれるまち 71
　　（４）安全安心で暮らし続けたいまち 74
　６．自由回答 77
　　（１）自由回答　政策分野別分類 77
　　（２）自由回答　基本施策別分類 78
　　（３）自由回答　政策目標ごと自由回答の傾向 79
参考資料：調査票 87

１章　調査の概要

１．調査の目的

地方分権社会の進展や、厳しい財政状況など、紀の川市を取り巻く環境が変化する中、総合計画の策定にあたっては、市民と行政がともにつくり、ともに実践することが重要との認識に立ち、誰にとっても分かりやすい、５年後１０年後のより良い紀の川市をめざした実効性の高い計画をつくることを目指しています。

そのため、市民の意見や希望を把握し、その結果を十分に協議した上で総合計画へ反映させていくことを目的に、市民意識調査を実施しました。

２．調査の概要

調査期間	平成 28 年 7 月 27 日(水)～8 月 22 日(月) ※7 月 27 日を対象者の抽出基準日としました。 ※締め切り後、一定期間は回収を行いました。
調査方法	郵送配布・回収
調査対象	紀の川市に在住する 18 歳以上 75 歳未満の住民 2,500 人
有効回答者数	931 人(回収数 931)
有効回答率	37.2%

３．留意事項

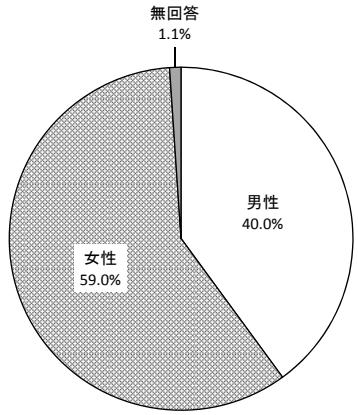
回答の比率(%)は、小数点以下第２位を四捨五入し、小数点第１位まで表示しています。したがって、比率の合計に 0.1 ポイント程度のずれが生じることがあります。

４．回答者の属性について（問６（１）～（１０））

（１）性別

アンケート回答者の性別は、「男性」が 40.0%、「女性」が 59.0%となっています。総人口比でも、女性のほうが若干多くなっていることから、概ね人口比に即した結果といえます。

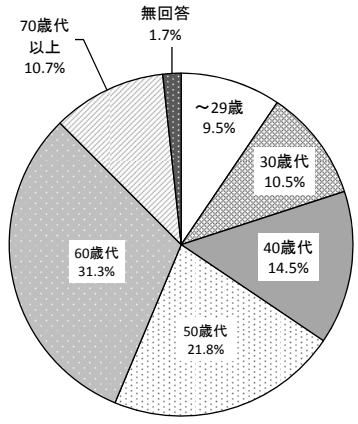
選択肢	回答数
男性	372
女性	549
無回答	10
合計	931



（２）年齢

アンケート回答者の年齢は、「29 歳以下」が 9.5%、「30 歳代」が 10.5%、「40 歳代」が 14.5%、「50 歳代」が 21.8%、「60 歳代」が 31.3%、「70 歳代以上」が 10.7%となっています。年齢が高くなるほど割合が高くなっています。

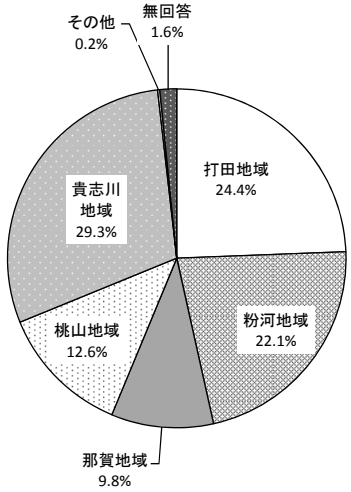
選択肢	回答数
～29歳	88
30歳代	98
40歳代	135
50歳代	203
60歳代	291
70歳代以上	100
無回答	16
合計	931



（３）居住地

アンケート回答者の居住地区は、「打田地域」が 24.4%、「粉河地域」が 22.1%、「那賀地域」が 9.8%、「桃山地域」が 12.6%、「貴志川地域」が 29.3%となっています。

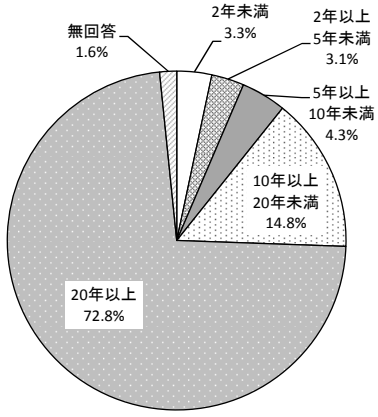
選択肢	回答数
打田地域	227
粉河地域	206
那賀地域	91
桃山地域	117
貴志川地域	273
その他	2
無回答	15
合計	931



（４）紀の川市（合併前の旧町を含む）での居住年数

アンケート回答者の居住期間は、「2 年未満」が 3.3%、「2 年以上 5 年未満」が 3.1%、「5 年以上 10 年未満」が 4.3%、「10 年以上 20 年未満」が 14.8%、「20 年以上」が 72.8%となっています。

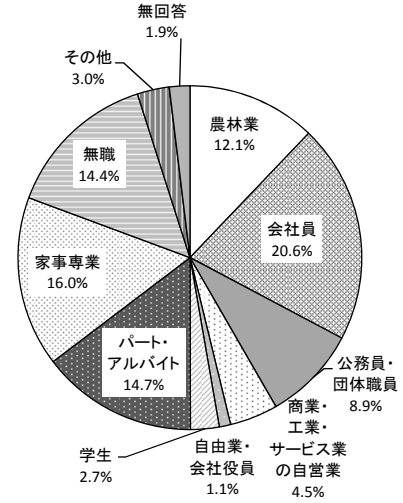
選択肢	回答数
2年未満	31
2年以上5年未満	29
5年以上10年未満	40
10年以上20年未満	138
20年以上	678
無回答	15
合計	931



（５）職業

アンケート回答者の職業は、「会社員」が最も多く 20.6%、次いで「家事専業」が 16.0%、「パート・アルバイト」が 14.7%、「無職」が 14.4%、「農林業」が 12.1%、「公務員・団体職員」が 8.9%、「商業・工業・サービス業の自営業」が 4.5%、「学生」が 2.7%、「自由業・会社役員」が 1.1%となっています。

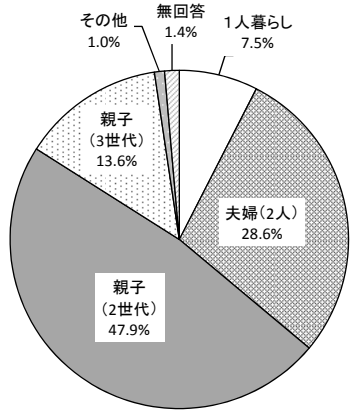
選択肢	回答数
農林業	113
会社員	192
公務員・団体職員	83
商業・工業・サービス業の自営業	42
自由業・会社役員	10
学生	25
パート・アルバイト	137
家事専業	149
無職	134
その他	28
無回答	18
合計	931



（６）家族構成

アンケート回答者の家族構成は、「親子（2 世代）」が最も多く 47.9%、次いで「夫婦（2 人）」が 28.6%、「親子（3 世代）」が 13.6%、「1 人暮らし」が 7.5%となっています。

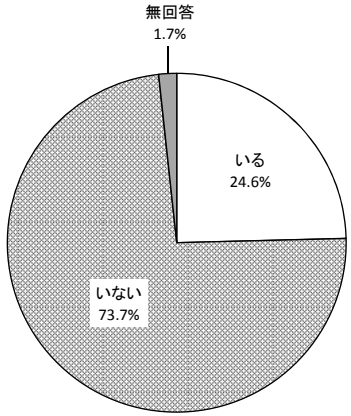
選択肢	回答数
1人暮らし	70
夫婦(2人)	266
親子(2世代)	446
親子(3世代)	127
その他	9
無回答	13
合計	931



（７－１）子どもの有無

アンケート回答者の子どもの有無は、「いる」が 24.6%、「いない」が 73.7%となっています。

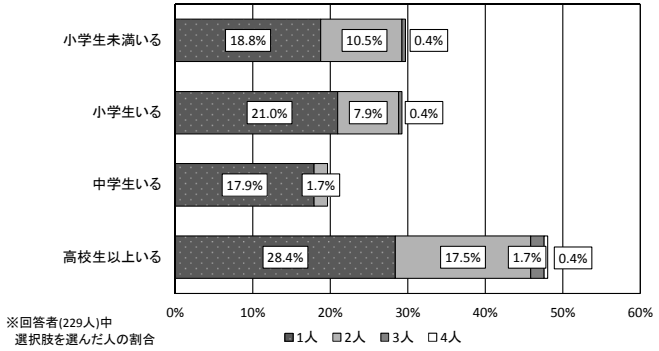
選択肢	回答数
いる	229
いない	686
無回答	16
合計	931



（７－２）養育中の子どもの内訳

（７－１）で「いる」と回答した回答者全体の養育中の子どもの内訳は、年代別に見ると、「小学生未満・1 人」が 18.8%、「小学生未満・2 人」が 10.5%、「小学生未満・3 人」が 0.4%、「小学生・1 人」が 21.0%、「小学生・2 人」が 7.9%「小学生・3 人」0.4%、「中学生・1 人」が 17.9%、「中学生・2 人」が 1.7%、「高校生以上・1 人」が 28.4%、「高校生以上・2 人」が 17.5%「高校生以上・3 人」が 1.7%、「高校生以上・4 人」が 0.4%となっています。

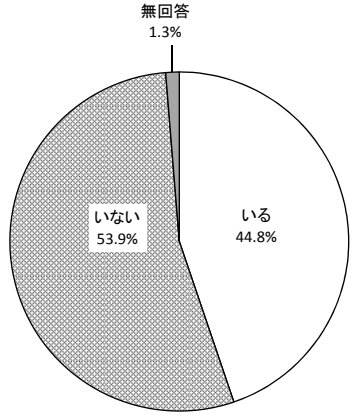
選択肢	1人	2人	3人	4人	合計
小学生未満いる	43	24	1	0	68
小学生いる	48	18	1	0	67
中学生いる	41	4	0	0	45
高校生以上いる	65	40	4	1	110



（８）同居する高齢者の有無（自分以外）

アンケート回答者の同居する高齢者の有無は、「いる」が 44.8%、「いない」が 53.9%となっています。

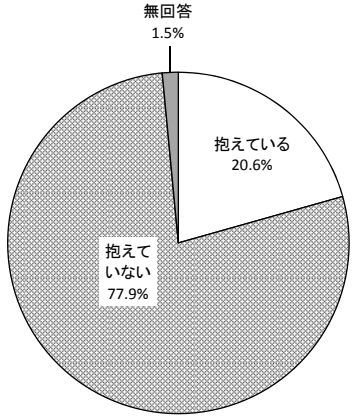
選択肢	回答数
いる	417
いない	502
無回答	12
合計	931



（９－１）長期的な病気・障害の有無

アンケート回答者の長期的な病気・障害の有無は、「抱えている」が 20.6%、「抱えていない」が 77.9%となっています。

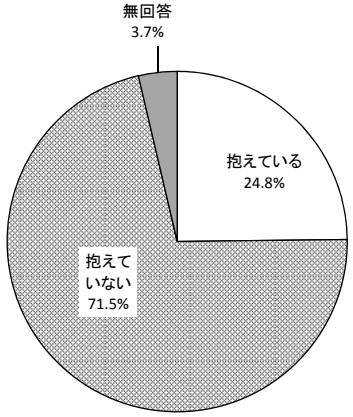
選択肢	回答数
抱えている	192
抱えていない	725
無回答	14
合計	931



（９－２）同居の家族の長期的な病気・障害の有無

アンケート回答者の同居の家族の長期的な病気・障害の有無は、「抱えている」が 24.8%、「抱えていない」が 71.5%となっています。

選択肢	回答数
抱えている	231
抱えていない	666
無回答	34
合計	931

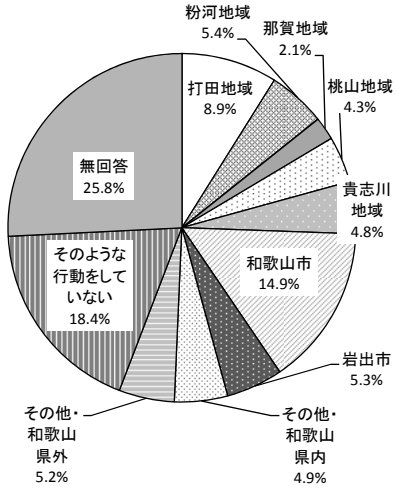


（１０）通勤・通学先や買物などの主な行き先

①通勤・通学

アンケート回答者の通勤・通学の主な行き先に対しての回答は「打田地域」が 8.9%、「粉河地域」が 5.4%、「那賀地域」が 2.1%、「桃山地域」が 4.3%、「貴志川地域」が 4.8%、「和歌山市」が 14.9%、「岩出市」が 5.3%、「その他・和歌山県内」が 4.9%、「その他・和歌山県外」が 5.2%、「そのような行動をしていない」が 18.4%となっています。

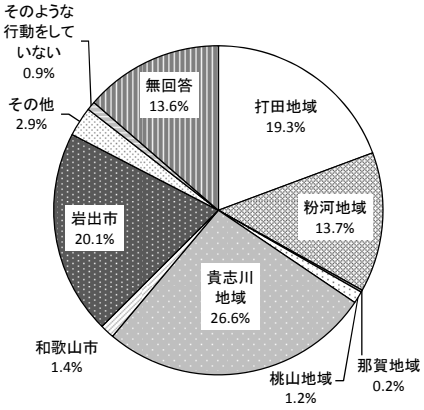
選択肢	回答数
打田地域	83
粉河地域	50
那賀地域	20
桃山地域	40
貴志川地域	45
和歌山市	139
岩出市	49
その他・和歌山県内	46
その他・和歌山県外	48
そのような行動をしていない	171
無回答	240
合計	931



②食料品・日用品の買い物

アンケート回答者の食料品・日用品の買い物の主な行き先に対しての回答は「打田地域」が 19.3%、「粉河地域」が 13.7%、「那賀地域」が 0.2%、「桃山地域」が 1.2%、「貴志川地域」が 26.6%、「和歌山市」が 1.4%、「岩出市」が 20.1%、「そのような行動をしていない」が 0.9%となっています。

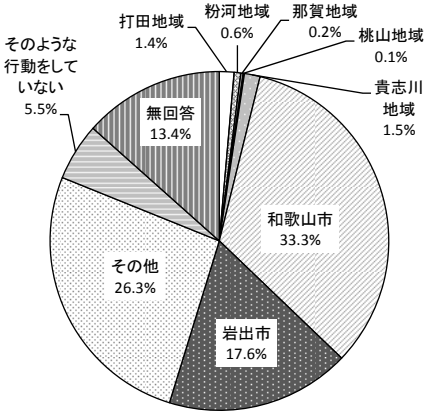
選択肢	回答数
打田地域	180
粉河地域	128
那賀地域	2
桃山地域	11
貴志川地域	248
和歌山市	13
岩出市	187
その他	27
そのような行動をしていない	8
無回答	127
合計	931



③嗜好品や高価な物の買物

アンケート回答者の嗜好品や高価な物の買い物の主な行き先に対しての回答は、「打田地域」が 1.4%、「粉河地域」が 0.6%、「那賀地域」が 0.2%、「桃山地域」が 0.1%、「貴志川地域」が 1.5%、「和歌山市」が 33.3%、「岩出市」が 17.6%、「そのような行動をしていない」が 5.5%となっています。

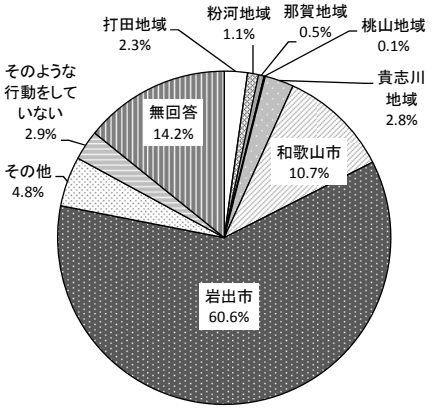
選択肢	回答数
打田地域	13
粉河地域	6
那賀地域	2
桃山地域	1
貴志川地域	14
和歌山市	310
岩出市	164
その他	245
そのような行動をしていない	51
無回答	125
合計	931



④レストラン・飲食店

アンケート回答者のレストラン・飲食店の主な行き先に対しての回答は、「打田地域」が 2.3%、「粉河地域」が 1.1%、「那賀地域」が 0.5%、「桃山地域」が 0.1%、「貴志川地域」が 2.8%、「和歌山市」が 10.7%、「岩出市」が 60.6%、「そのような行動をしていない」が 2.9%となっています。

選択肢	回答数
打田地域	21
粉河地域	10
那賀地域	5
桃山地域	1
貴志川地域	26
和歌山市	100
岩出市	564
その他	45
そのような行動をしていない	27
無回答	132
合計	931



2章 調査結果

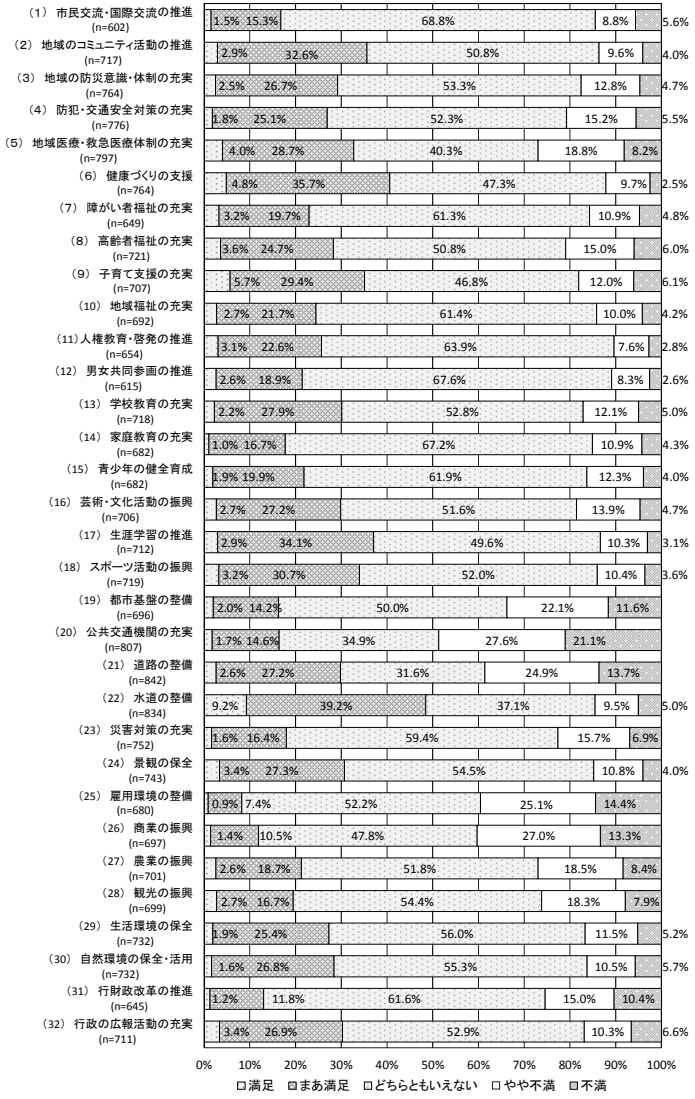
1．満足率（問3）

アンケート回答者全体でみた紀の川市の現在のまちづくりについて、全 32 項目のうち「満足している」が選択された割合が最も高いのは「水道の整備」の 9.2%で、以下「子育て支援の充実」の 5.7%、「健康づくりの支援」の 4.8%と続いています。

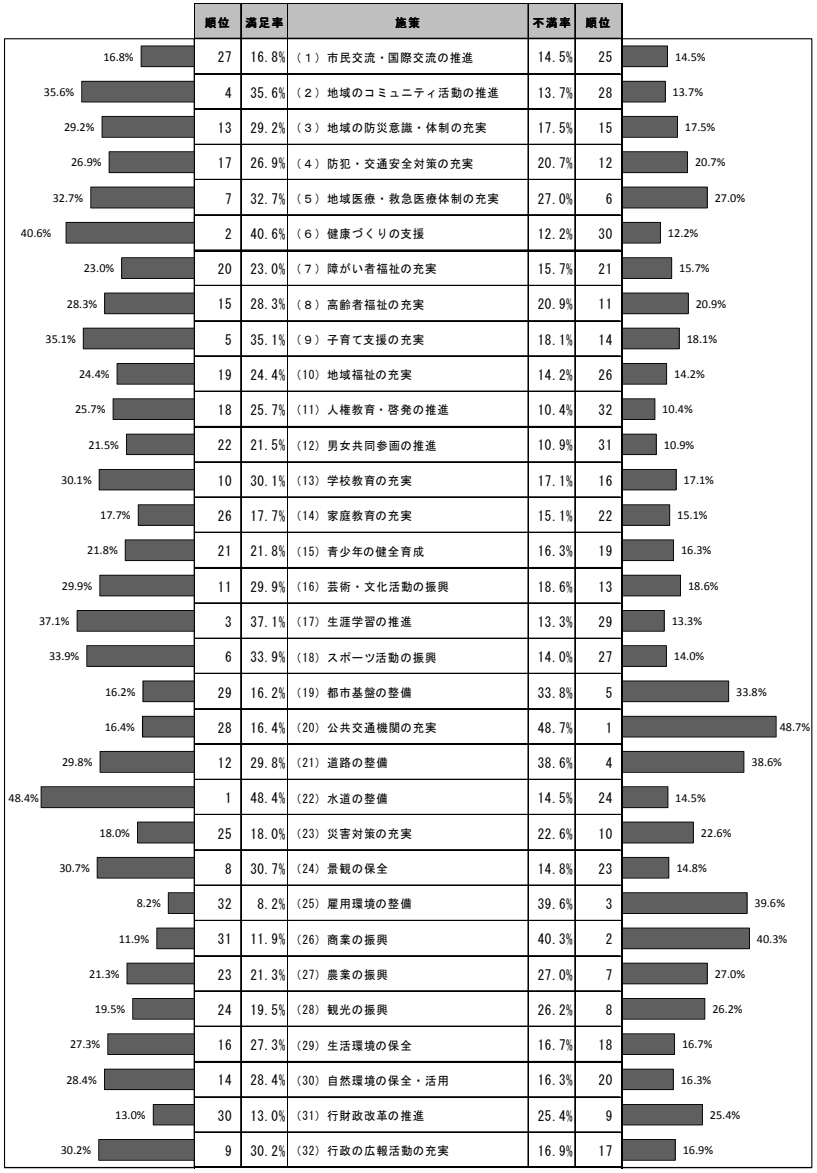
「不満である」とする割合が最も高いのは。「公共交通機関の充実」の 21.1%で、以下「雇用環境の整備」の 14.4%、「道路の整備」の 13.7%と続いています。

問3　次に示す紀の川市のこれまでの取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

※有効回答者数 931 人のうち、「わからない・意見なし」と回答、又は無回答だった回答者を除いて集計しています。



※参考：上記までの満足率と不満率を、それぞれ棒グラフで表したものが以下のグラフです。

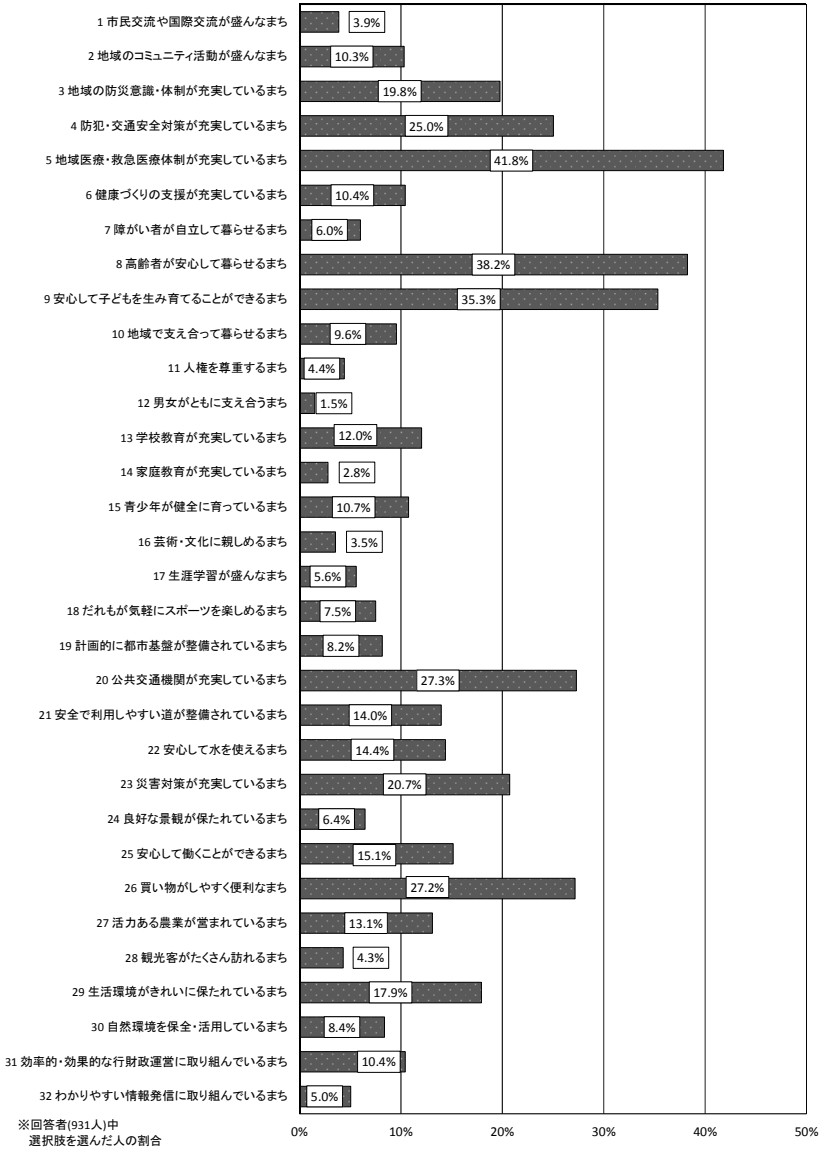


	順位	満足率	施策	不満率	順位	
16.8%	27	16.8%	（1）市民交流・国際交流の推進	14.5%	25	14.5%
35.6%	4	35.6%	（2）地域のコミュニティ活動の推進	13.7%	28	13.7%
29.2%	13	29.2%	（3）地域の防災意識・体制の充実	17.5%	15	17.5%
26.9%	17	26.9%	（4）防犯・交通安全対策の充実	20.7%	12	20.7%
32.7%	7	32.7%	（5）地域医療・救急医療体制の充実	27.0%	6	27.0%
40.6%	2	40.6%	（6）健康づくりの支援	12.2%	30	12.2%
23.0%	20	23.0%	（7）障がい者福祉の充実	15.7%	21	15.7%
28.3%	15	28.3%	（8）高齢者福祉の充実	20.9%	11	20.9%
35.1%	5	35.1%	（9）子育て支援の充実	18.1%	14	18.1%
24.4%	19	24.4%	（10）地域福祉の充実	14.2%	26	14.2%
25.7%	18	25.7%	（11）人権教育・啓発の推進	10.4%	32	10.4%
21.5%	22	21.5%	（12）男女共同参画の推進	10.9%	31	10.9%
30.1%	10	30.1%	（13）学校教育の充実	17.1%	16	17.1%
17.7%	26	17.7%	（14）家庭教育の充実	15.1%	22	15.1%
21.8%	21	21.8%	（15）青少年の健全育成	16.3%	19	16.3%
29.9%	11	29.9%	（16）芸術・文化活動の振興	18.6%	13	18.6%
37.1%	3	37.1%	（17）生涯学習の推進	13.3%	29	13.3%
33.9%	6	33.9%	（18）スポーツ活動の振興	14.0%	27	14.0%
16.2%	29	16.2%	（19）都市基盤の整備	33.8%	5	33.8%
16.4%	28	16.4%	（20）公共交通機関の充実	48.7%	1	48.7%
29.8%	12	29.8%	（21）道路の整備	38.6%	4	38.6%
48.4%	1	48.4%	（22）水道の整備	14.5%	24	14.5%
18.0%	25	18.0%	（23）災害対策の充実	22.6%	10	22.6%
30.7%	8	30.7%	（24）景観の保全	14.8%	23	14.8%
8.2%	32	8.2%	（25）雇用環境の整備	39.6%	3	39.6%
11.9%	31	11.9%	（26）商業の振興	40.3%	2	40.3%
21.3%	23	21.3%	（27）農業の振興	27.0%	7	27.0%
19.5%	24	19.5%	（28）観光の振興	26.2%	8	26.2%
27.3%	16	27.3%	（29）生活環境の保全	16.7%	18	16.7%
28.4%	14	28.4%	（30）自然環境の保全・活用	16.3%	20	16.3%
13.0%	30	13.0%	（31）行財政改革の推進	25.4%	9	25.4%
30.2%	9	30.2%	（32）行政の広報活動の充実	16.9%	17	16.9%

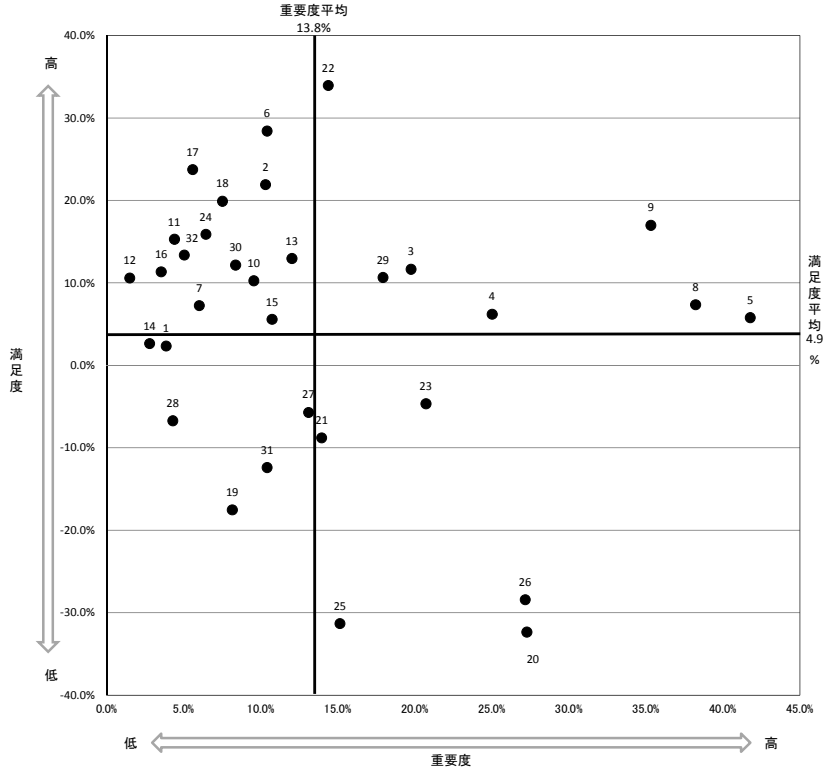
２．重要度（問２）

アンケート回答者全体でみた紀の川市の今後のまちづくりについて、「重要」とする割合が最も高いのは「地域医療・救急医療施設が充実しているまち」で 41.8%となっており、以下「高齢者が安心して暮らせるまち」が 38.2%、「安心して子どもを生み育てることができるまち」が 35.3%と続いています。

問2　あなたは、次に示すまちづくりの方針のうち、今後の紀の川市にとって何が重要だと思いますか。以下の１～32のうち重要だと思うものを5つまで選んで、番号に○をつけてください。



（参考）上記までの満足度と重要度を 2 軸で表したものが以下の散布図です。満足度は満足率と不満率の差（満足度 ＝ 満足率 － 不満率）となります。



1　市民交流や国際交流が盛んなまち
2　地域のコミュニティ活動が盛んなまち
3　地域の防災意識・体制が充実しているまち
4　防犯・交通安全対策が充実しているまち
5　地域医療・救急医療体制が充実しているまち
6　健康づくりの支援が充実しているまち
7　障がい者が自立して暮らせるまち
8　高齢者が安心して暮らせるまち
9　安心して子どもを生み育てることができるまち
10　地域で支え合って暮らせるまち
11　人権を尊重するまち
12　男女がともに支え合うまち
13　学校教育が充実しているまち
14　家庭教育が充実しているまち
15　青少年が健全に育っているまち
16　芸術・文化に親しめるまち
17　生涯学習が盛んなまち
18　だれもが気軽にスポーツを楽しめるまち
19　計画的に都市基盤が整備されているまち
20　公共交通機関が充実しているまち
21　安全で利用しやすい道が整備されているまち
22　安心して水を使えるまち
23　災害対策が充実しているまち
24　良好な景観が保たれているまち
25　安心して働くことができるまち
26　買い物がしやすく便利なまち
27　活力ある農業が営まれているまち
28　観光客がたくさん訪れるまち
29　生活環境がきれいに保たれているまち
30　自然環境を保全・活用しているまち
31　効率的・効果的な行財政運営に取り組んでいるまち
32　わかりやすい情報発信に取り組んでいるまち

以降に続く調査結果では、各設問の回答の単純集計（回答数、回答割合）に加え、一部設問において属性分析の結果を記載しています。属性分析では、回答者の母数が一定の割合以上存在する設問を対象としました。各設問の内容と関連度が高い回答者の属性を抽出し、各属性における回答割合を記載しています。

以下に続く図表が、属性分析で用いた属性分類と各設問の属性分析で使用した属性の対応表です。

属性分類

属性分類	回答パターン	属性分類	回答パターン
性別	男	養育中の子どもの有無	いる
	女		いない
年代	30歳未満	小学生未満	いる
	30代	小学生	いる
	40代	中学生	いる
	50代	高校生以上	いる
	60代	65歳以上の同居人	いる
	70歳以上		いない
居住地	打田地域	本人の持病や障害の有無	抱えている
	粉河地域		抱えていない
	那賀地域	同居人の持病や障害の有無	抱えている
	桃山地域		抱えていない
	貴志川地域	通勤・通学	紀の川市
居住年数	２年未満		和歌山市
	２年以上５年未満		岩出市
	５年以上10年未満		その他・和歌山県内
	10年以上20年未満		その他・和歌山県外
	20年以上		通勤・通学なし
職業	農林業	住みよさ	住みよい
	会社員		どちらかといえば住みよい
	公務員・団体職員		どちらかといえば住みにくい
	商業・工業・サービス業の自営業		住みにくい
	自由業・会社役員	定住意向	住み続けたい
	学生		当分住み続けたい
	パート・アルバイト		いずれは転居したい
	家事専業		すぐにでも転居したい
	無職		転居する予定である
	その他		わからない
家族構成	１人暮らし		
	夫婦（2人）		
	親子（2世代）		
	親子（3世代）		
	その他		

属性分析対応表

設問＼属性		性別	年代	居住地	居住年数	職業	家族構成	養育中の子どもの有無	小学生未満いる	小学生いる	中学生いる	高校生以上いる	65歳以上の同居人	本人の持病や障害の有無	同居人の持病や障害の有無	通勤・通学	住みよさ	定住意向
問1			○	○														
問2																		
問3																		
問4	(1)	○		○														
	(2)		○	○														
	(3)																	
	(4)		○	○														
	(5)																	
	(6)			○	○													
	(7)		○	○														
	(8)		○	○														
	(9)		○	○														
	(10)		○	○														
	(11)		○	○														
	(12)			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	(13)			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	(14)																	
	(15)	○	○															
	(16)			○			○						○	○	○			
	(17)			○				○	○	○	○	○						
	(18)			○				○	○	○	○	○						
	(19)		○					○										
	(20)		○	○														
	(21)		○	○														
	(22)		○	○		○												
	(23)																	
	(24)		○	○		○							○	○	○	○		
	(25)																	
	(26)		○	○														
	(27)		○	○														
	(28)		○	○														
	(29)		○	○														
	(30)	○	○															
	(31)		○														○	
	(32)		○			○												
	(33)		○			○												
	(34)	○	○															
	(35)	○	○															
問5	(1)		○			○										○		○
	(2)		○			○										○		○
	(3)		○	○		○		○	○	○	○	○				○		○
	(4)		○	○		○										○		○

属性分析の実施にあたっては、各設問の内容を勘案し、回答の傾向に特徴がでると予想される属性分類に絞って分析しました。本表に○のついている属性分類について、分析を実施し、本報告書に結果を掲載しています。

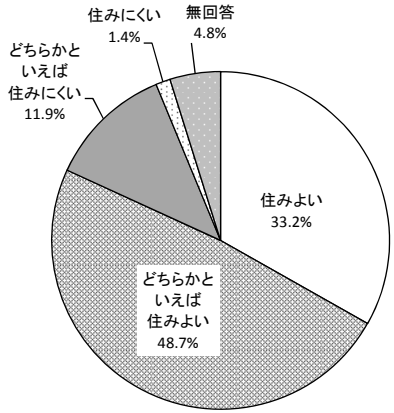
3．現在の生活の実感について（問１）

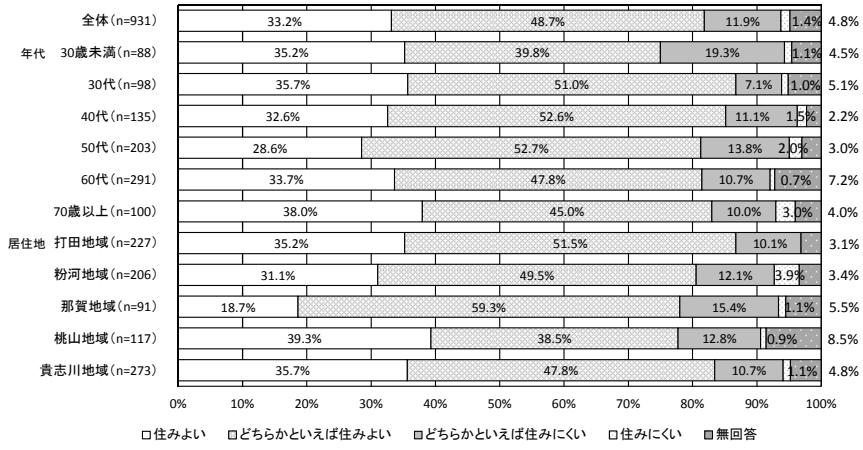
（１）住みよさ

アンケート回答者全体の住みやすさに対する回答は、「住みよい」が 33.2%、「どちらかといえば住みよい」が 48.7%、「どちらかといえば住みにくい」が 11.9%、「住みにくい」が 1.4%となっています。「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせて 81.9%の人が住みやすいと感じています.

（１）　あなたにとって、紀の川市を住みよいと感じていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
住みよい	309
どちらかといえば住みよい	453
どちらかといえば住みにくい	111
住みにくい	13
無回答	45
合計	931



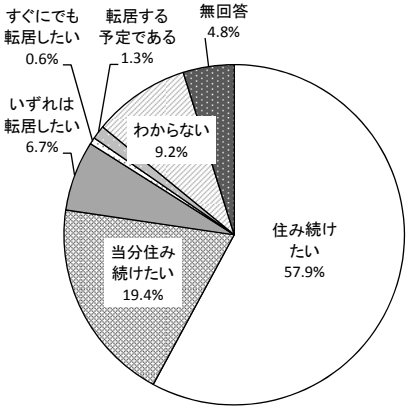


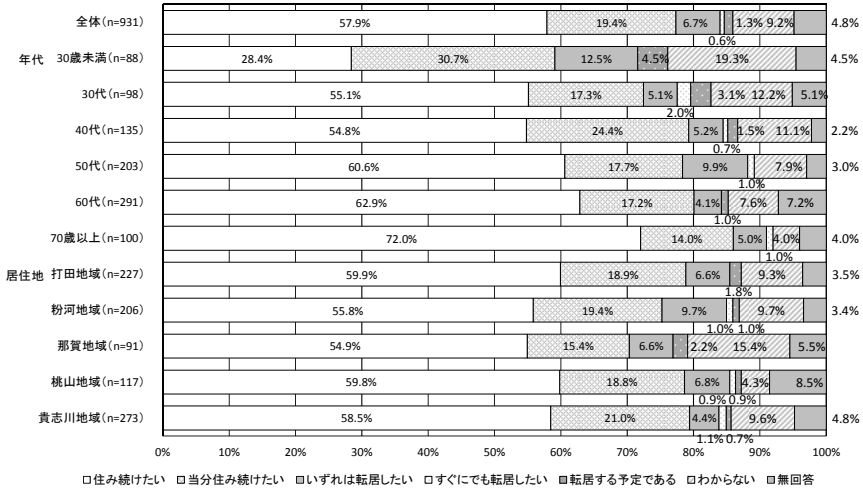
（２）定住志向

アンケート回答者全体の定住志向に対する回答は、「住み続けたい」が 57.9%、「当分住み続けたい」が 19.4%、「いずれは転居したい」が 6.7%、「すぐにでも転居したい」が 0.6%、「転居する予定である」が 1.3%となっています。「住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合わせて、77.3%の人が住み続けたいと感じています。

（２） あなたは、これからも紀の川市に住み続けたいですか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
住み続けたい	539
当分住み続けたい	181
いずれは転居したい	62
すぐにでも転居したい	6
転居する予定である	12
わからない	86
無回答	45
合計	931





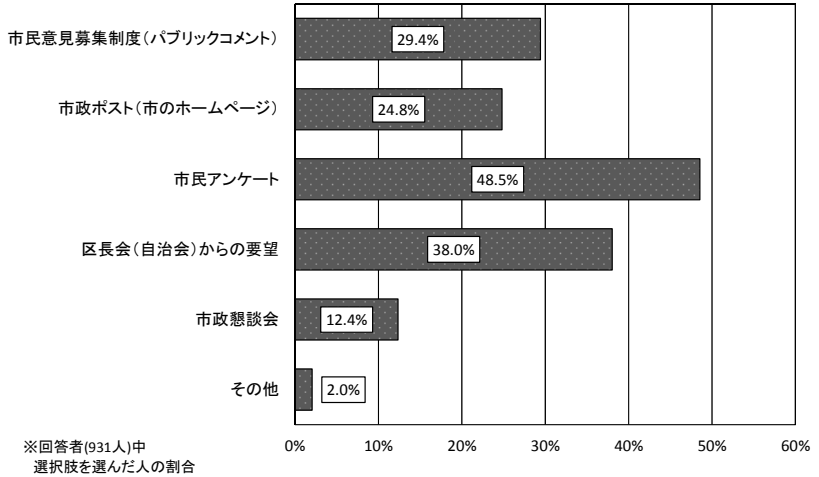
４．日常生活での取り組みについて

■協働・市民交流

（１）行政参画の手法

回答全体の中では、「市民アンケート」が 48.5%と最も多く、「区長会（自治会）からの要望」が 38.0%、「市民意見募集制度（パブリックコメント）」が 29.4%、「市政ポスト」が 24.8%、「市政懇談会」が 12.4%と続いています。

（１） あなたは、市民意見を市政に反映するには、どの手法が有効だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	性別	
		男 (n=372)	女 (n=549)
市民意見募集制度（パブリックコメント）	29.4%	31.7%	28.1%
市政ポスト（市のホームページ）	24.8%	24.2%	25.3%
市民アンケート	48.5%	44.6%	51.0%
区長会（自治会）からの要望	38.0%	38.7%	37.7%
市政懇談会	12.4%	15.6%	10.4%
その他	2.0%	2.7%	1.6%

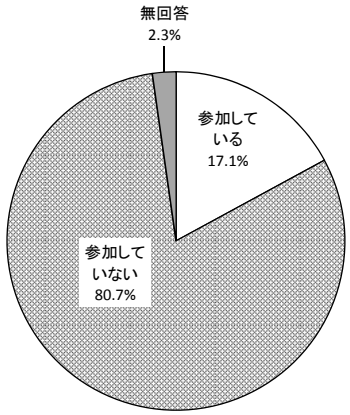
	全体 (n=931)	居住地				
		打田地域 (n=227)	粉河地域 (n=206)	那賀地域 (n=91)	桃山地域 (n=117)	貴志川地域 (n=273)
市民意見募集制度（パブリックコメント）	29.4%	28.2%	27.2%	29.7%	24.8%	34.1%
市政ポスト（市のホームページ）	24.8%	29.1%	25.2%	26.4%	23.1%	21.6%
市民アンケート	48.5%	55.1%	42.7%	44.0%	40.2%	52.0%
区長会（自治会）からの要望	38.0%	36.1%	39.8%	44.0%	36.8%	37.4%
市政懇談会	12.4%	10.6%	13.1%	14.3%	11.1%	13.6%
その他	2.0%	2.6%	2.4%	2.2%	1.7%	1.5%

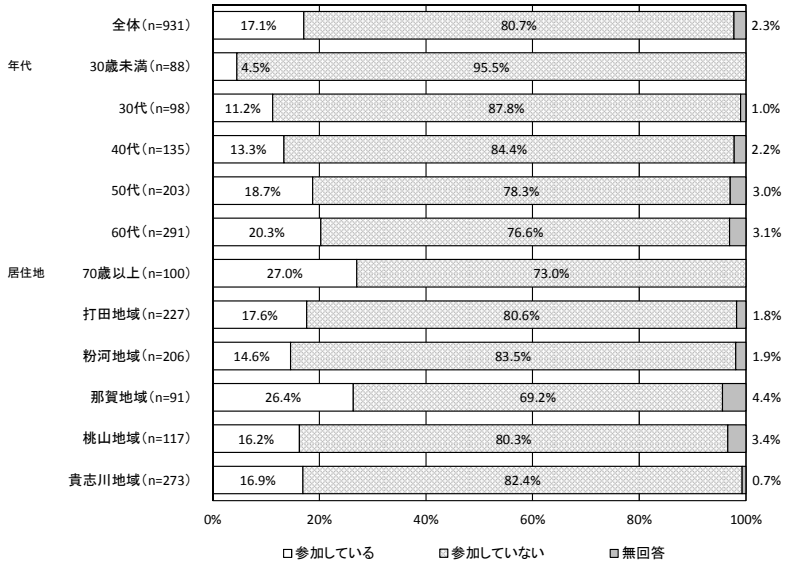
（２）ボランティアへの参加経験

回答全体の中では、「参加している」が 17.1%、「参加していない」が 80.７%となっています。

（２）　あなたは、ボランティア活動（本来の仕事とは別に、自発的に困っている人を助けたり、地域や社会のために時間や労力、技術などを提供する奉仕活動）に参加していますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
参加している	159
参加していない	751
無回答	21
合計	931



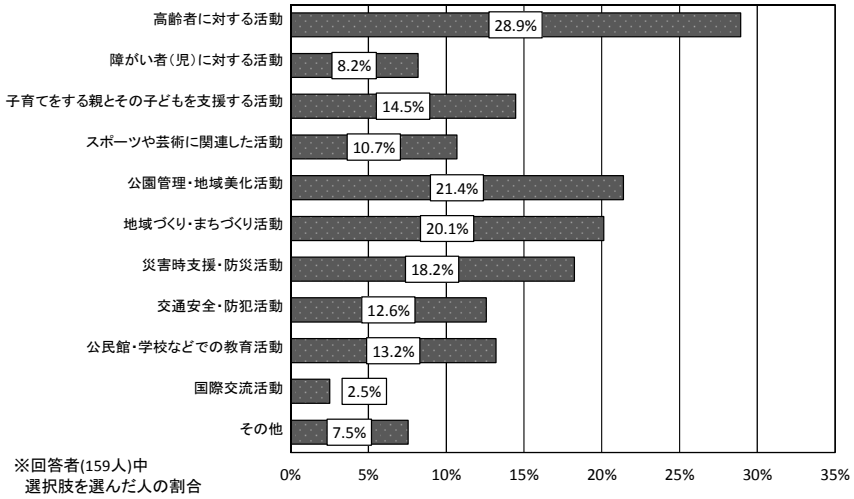


（３）参加しているボランティアの種類

回答全体の中では、「高齢者に対する活動」が 28.9%と最も多く、「公園管理・地域美化活動」が 21.4%、「地域づくり・まちづくり活動」が 20.1%、「災害時支援・防災活動」が 18.2%、「子育てをする親とその子どもを支援する活動」が 14.5%、「公民館・学校などでの教育活動」が 13.2%、「交通安全・防犯活動」が 12.6%、「スポーツや芸術に関連した活動」が 10.7%、「障がい者（児）に対する活動」が 8.2%、「国際交流活動」が 2.5%と続いています。

上記（２）で「１ 参加している」と回答した方にお伺いします。

（３）　あなたは、具体的にどのようなボランティア活動に参加していますか。（あてはまる番号すべてに○）



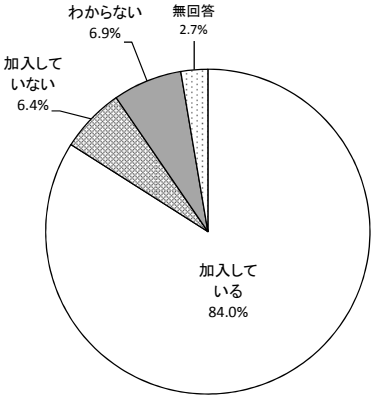
※回答者(159人)中
選択肢を選んだ人の割合

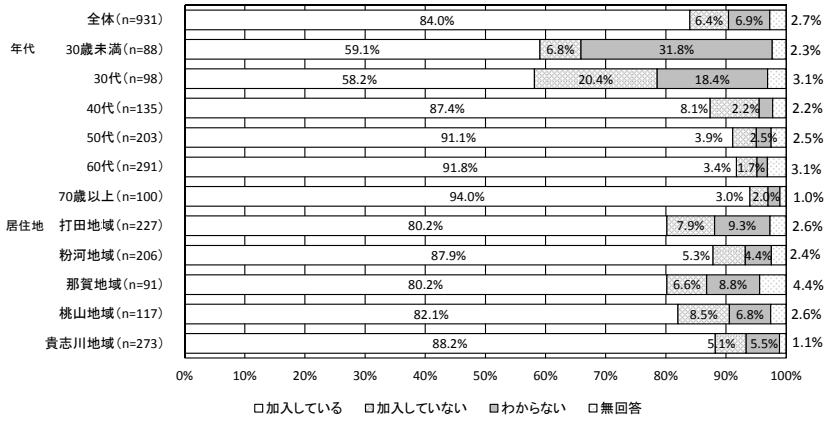
（４）自治区への加入

回答全体の中では、「加入している」が 84.0%、「加入していない」が 6.4%となっています。

（4）	あなたは（あなたの世帯は）、自治区へ加入していますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
加入している	782
加入していない	60
わからない	64
無回答	25
合計	931



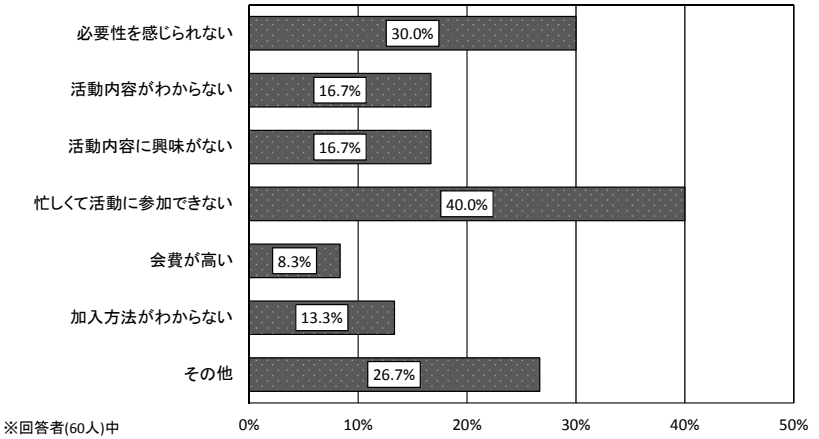


（５）自治区に加入していない理由

回答全体の中では、「忙しくて活動に参加できない」が 40.0%と最も多く、「必要性を感じられない」が 30.0%、「活動内容がわからない」「活動内容に興味がない」が 16．7%、「加入方法がわからない」が 13.3%、「会費が高い」が 8.3%と続いています。

上記（4）で「2 加入していない」と回答した方にお伺いします。

（5）	あなたが（あなたの世帯が）自治区へ加入していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



※回答者(60人)中
選択肢を選んだ人の割合

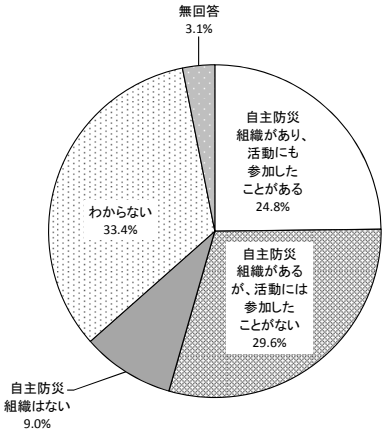
■防災・防犯

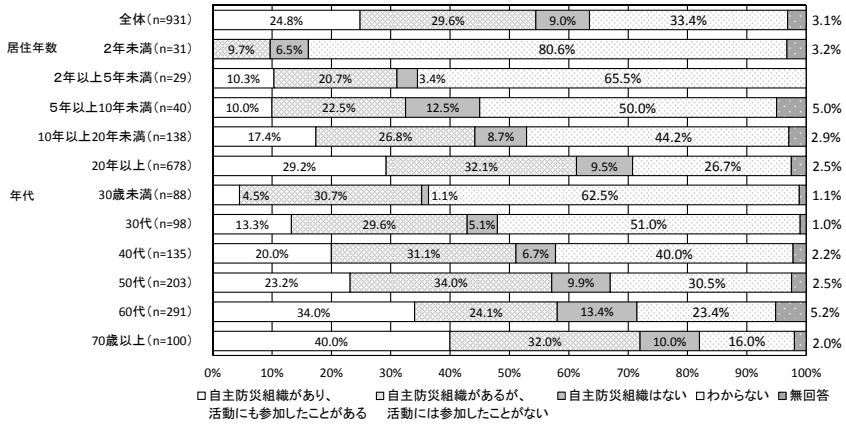
（６）自主防災組織の有無と活動への参加

回答全体の中では、「わからない」が 33.4%と最も多く、「自主防災組織があるが、活動には参加したことがない」が 29.6%、「自主防災組織があり、活動にも参加したことがある」が 24.8%「自主防災組織はない」が 9.0%、と続いています。

（６）　あなたのお住まいの地区に自主防災組織はありますか。また、自主防災組織の活動に参加していますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
自主防災組織があり、活動にも参加したことがある	231
自主防災組織があるが、活動には参加したことがない	276
自主防災組織はない	84
わからない	311
無回答	29
合計	931



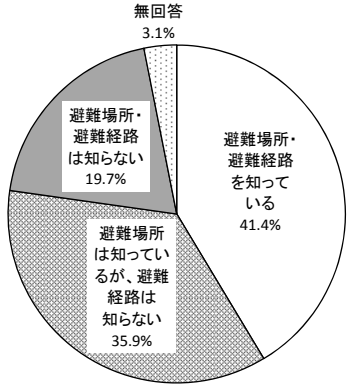


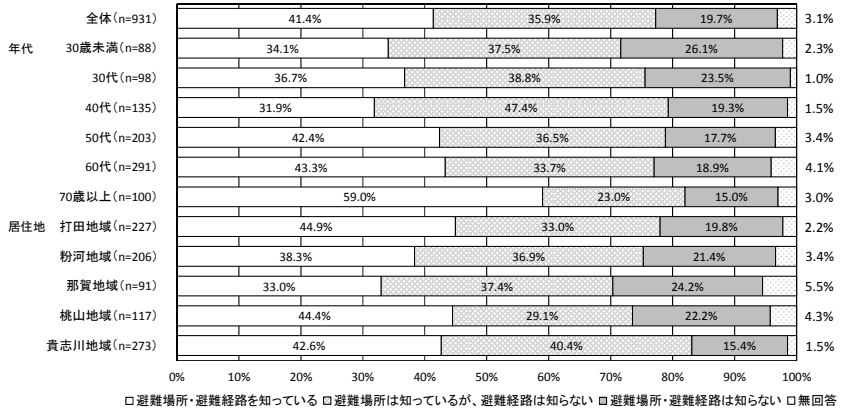
（７）避難場所と避難経路

回答全体の中では、「避難場所・避難経路を知っている」が 41.4%と最も多く、「避難場所は知っているが、避難経路は知らない」が 35.9%、「避難場所・避難経路は知らない」が 19.7%と続いています。

（７）　あなたは、お住まいの地域の避難場所と避難経路を知っていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
避難場所・避難経路を知っている	385
避難場所は知っているが、避難経路は知らない	334
避難場所・避難経路は知らない	183
無回答	29
合計	931



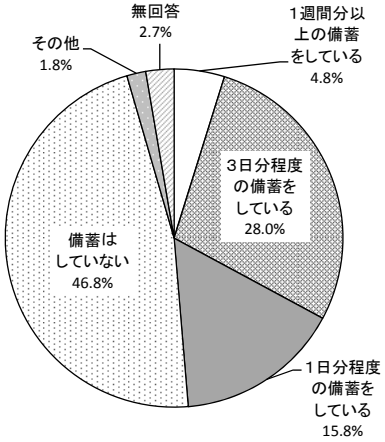


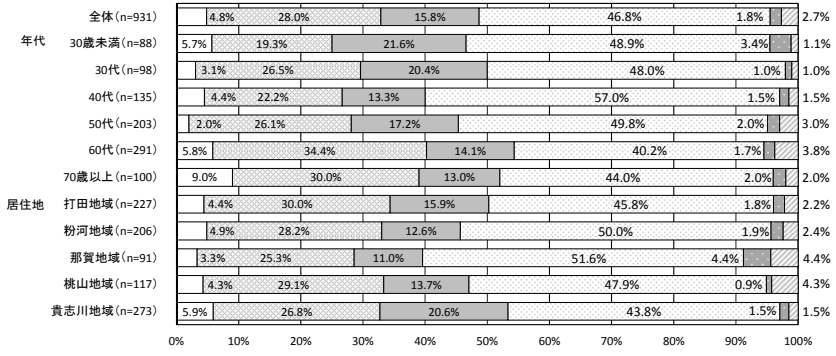
（８）緊急時の備蓄の有無

回答全体の中では、「備蓄はしていない」が 46.8%と最も多く、「３日分程度の備蓄をしている」が 28.0%、「１日分程度の備蓄をしている」が 15.8%、「１週間分以上の備蓄をしている」が 4.8%と続いています。

（８）	あなたは、大規模災害に対して水や食糧などの備蓄をしていますか。 （あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
１週間分以上の備蓄をしている	45
３日分程度の備蓄をしている	261
１日分程度の備蓄をしている	147
備蓄はしていない	436
その他	17
無回答	25
合計	931



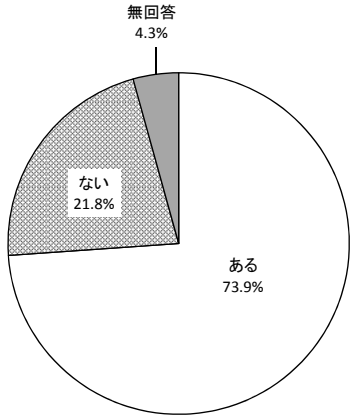


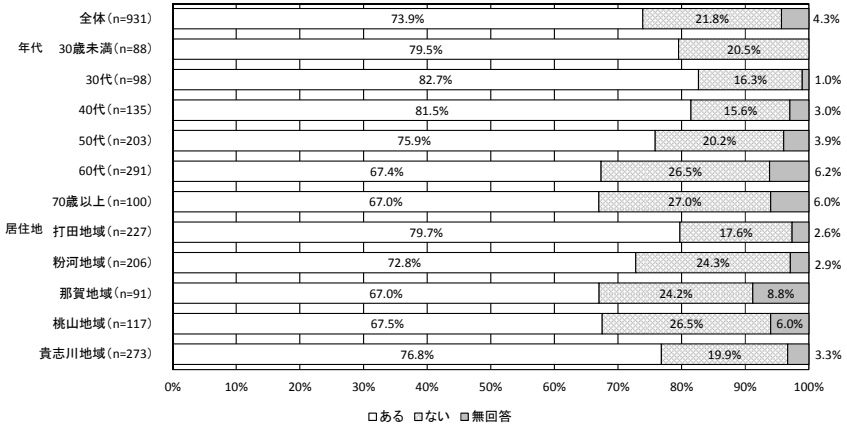
（９）車や自転車で走行中、または徒歩で移動中に危険を感じたことの有無

回答全体の中では、「ある」が 73.9%、「ない」が 21.8%となっています。

（９）	あなたは、紀の川市内で車や自転車で走行中、または徒歩で移動中に危険を感じたことはありますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
ある	688
ない	203
無回答	40
合計	931



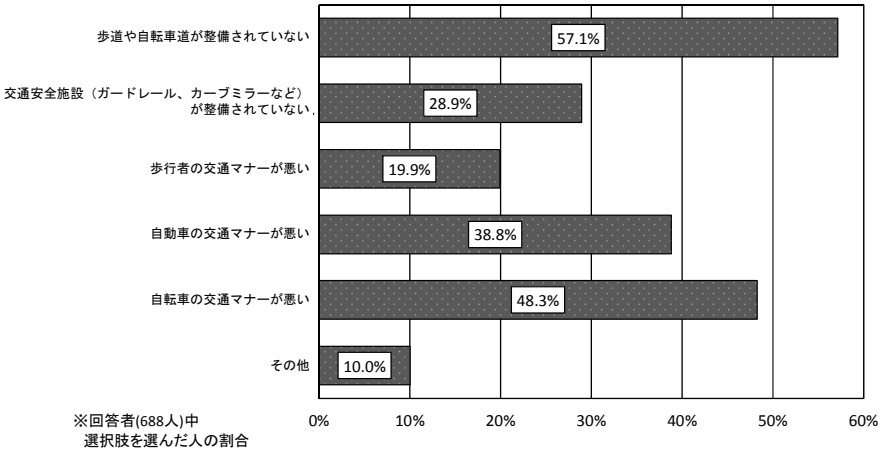


（１０）移動中に危険を感じた理由

回答全体の中では、「歩道や自転車道が整備されていない」が 57.1%と最も多く、「自転車の交通マナーが悪い」が 48.3%、「自動車の交通マナーが悪い」が 38.8%、「交通安全施設（ガードレール、カーブミラーなど）が整備されていない」が 28.9%、「歩行者の交通マナーが悪い」が 19.9%と続いています。

上記(9)で「1 ある」と回答した方にお伺いします。

（10） あなたが紀の川市内で車や自転車で走行中、または徒歩で移動中にどのようなことが理由で危険を感じましたか。(あてはまる番号すべてに○)



※回答者(688人)中
選択肢を選んだ人の割合

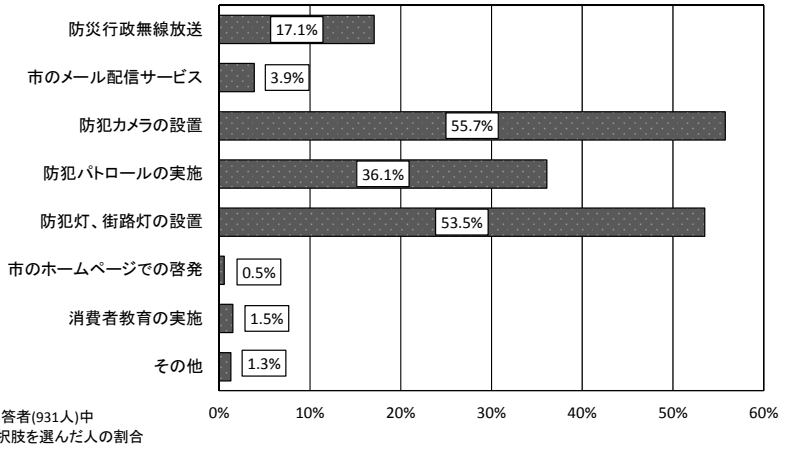
	全体 (n=688)	年代					
		30歳未満 (n=70)	30代 (n=81)	40代 (n=110)	50代 (n=154)	60代 (n=196)	70歳以上 (n=67)
歩道や自転車道が整備されていない	57.1%	55.7%	55.6%	61.8%	59.1%	58.7%	44.8%
交通安全施設（ガードレール、カーブミラーなど）が整備されていない	28.9%	34.3%	34.6%	27.3%	27.3%	32.1%	16.4%
歩行者の交通マナーが悪い	19.9%	28.6%	17.3%	17.3%	15.6%	20.9%	26.9%
自動車の交通マナーが悪い	38.8%	50.0%	45.7%	40.9%	35.7%	36.7%	28.4%
自転車の交通マナーが悪い	48.3%	54.3%	45.7%	43.6%	44.2%	50.0%	55.2%
その他	10.0%	10.0%	13.6%	9.1%	13.6%	8.7%	3.0%

	全体 (n=688)	居住地				
		打田地域 (n=181)	粉河地域 (n=150)	那賀地域 (n=61)	桃山地域 (n=79)	貴志川地域 (n=210)
歩道や自転車道が整備されていない	57.1%	58.0%	53.3%	63.9%	62.0%	55.2%
交通安全施設（ガードレール、カーブミラーなど）が整備されていない	28.9%	26.5%	27.3%	45.9%	25.3%	28.1%
歩行者の交通マナーが悪い	19.9%	21.0%	18.0%	19.7%	11.4%	22.9%
自動車の交通マナーが悪い	38.8%	38.1%	43.3%	36.1%	36.7%	37.6%
自転車の交通マナーが悪い	48.3%	47.0%	40.7%	41.0%	45.6%	57.1%
その他	10.0%	13.3%	10.0%	9.8%	12.7%	6.2%

（１１）犯罪抑制のために効果的だと思われるもの

回答全体の中では、「防犯カメラの設置」が 55.7%と最も多く、「防犯灯、街路灯の設置」が 53.5%、「防犯パトロールの実施」が 36.1%、「防災行政無線放送」が 17.1%、「市のメール配信サービス」が 3.9%、「消費者教育の実施」が 1.5%、「市のホームページでの啓発」が 0.5%と続いています。

（11） 市内で発生する犯罪等を抑制するために効果的なものは、次のうちどれだと思いますか。(あてはまる番号を 2 つ以内選んで○)



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
防災行政無線放送	17.1%	11.4%	12.2%	12.6%	16.3%	21.3%	24.0%
市のメール配信サービス	3.9%	4.5%	7.1%	5.9%	5.9%	1.7%	0.0%
防犯カメラの設置	55.7%	60.2%	44.9%	50.4%	56.7%	60.1%	59.0%
防犯パトロールの実施	36.1%	42.0%	49.0%	45.9%	33.5%	32.3%	24.0%
防犯灯、街路灯の設置	53.5%	54.5%	52.0%	58.5%	54.7%	50.5%	55.0%
市のホームページでの啓発	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	3.0%
消費者教育の実施	1.5%	4.5%	1.0%	0.7%	2.0%	0.7%	2.0%
その他	1.3%	0.0%	2.0%	0.0%	2.0%	2.1%	0.0%

	全体 (n=931)	居住地				
		打田地域 (n=227)	粉河地域 (n=206)	那賀地域 (n=91)	桃山地域 (n=117)	貴志川地域 (n=273)
防災行政無線放送	17.1%	18.5%	17.0%	18.7%	19.7%	15.4%
市のメール配信サービス	3.9%	6.2%	1.5%	0.0%	4.3%	5.1%
防犯カメラの設置	55.7%	54.2%	57.3%	54.9%	52.1%	58.6%
防犯パトロールの実施	36.1%	33.9%	36.9%	29.7%	32.5%	41.0%
防犯灯、街路灯の設置	53.5%	53.3%	58.3%	56.0%	55.6%	49.1%
市のホームページでの啓発	0.5%	0.9%	1.0%	0.0%	0.0%	0.4%
消費者教育の実施	1.5%	0.9%	2.4%	2.2%	1.7%	0.7%
その他	1.3%	1.3%	0.0%	4.4%	0.9%	1.5%

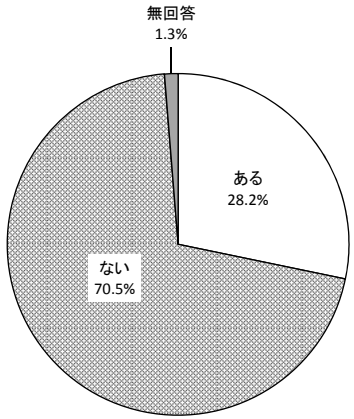
■医療・保健・福祉

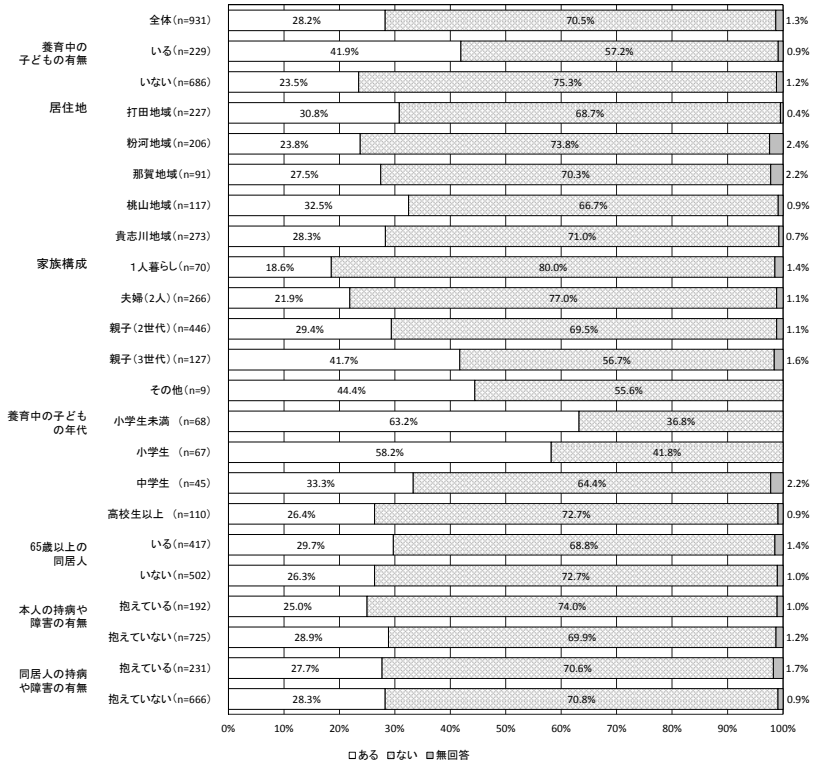
（１２）１年間での夜間・休日受診の有無

回答全体の中では、「ある」が 28.2%、「ない」が 70.5%となっています。

（12）	この１年間で、あなたは（あるいはあなたの家族は）、休日や夜間に医療機関を受診したことがありますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
ある	263
ない	656
無回答	12
合計	931



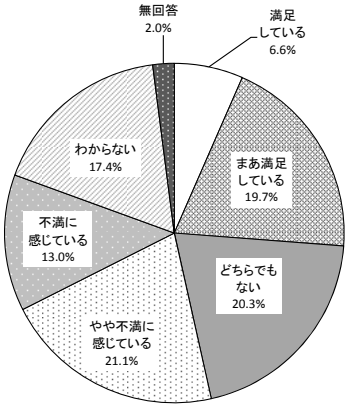


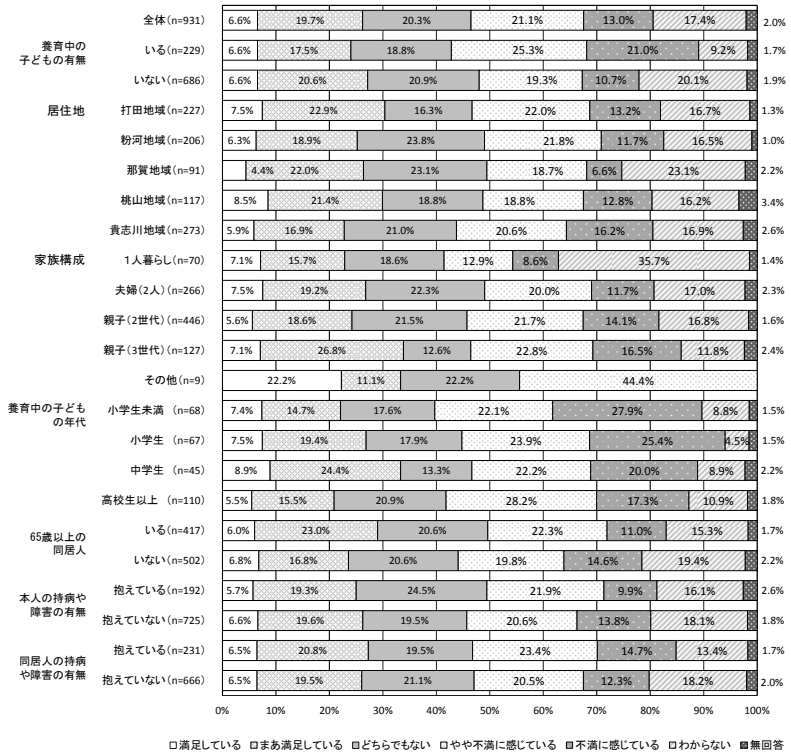
（１３）休日や夜間の医療機関の受け入れ体制に対して満足している人の割合

回答全体の中では、「やや不満に感じている」が 21.1%と最も多く、「どちらでもない」が 20.3%、「まあ満足している」が 19.7%、「わからない」が 17.4%、「不満に感じている」が 13.0%、「満足している」が 6.6%と続いています。

（13） あなたは、お住まいの地域の休日や夜間の医療機関の受入体制について満足していますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
満足している	61
まあ満足している	183
どちらでもない	189
やや不満に感じている	196
不満に感じている	121
わからない	162
無回答	19
合計	931



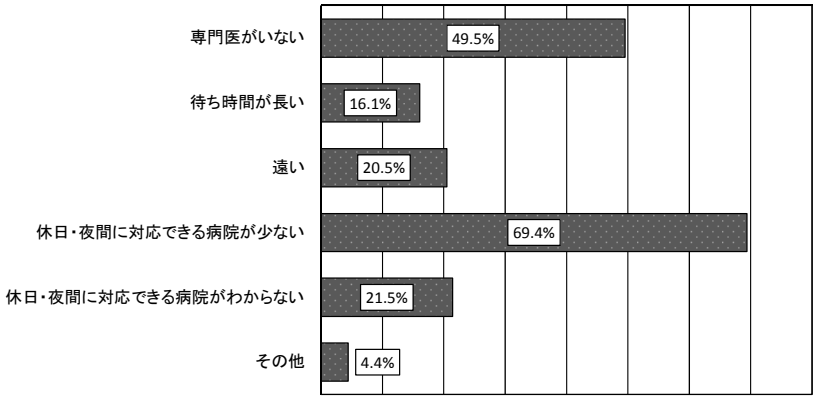


（１４）休日や夜間の医療機関の受け入れ体制に不満を感じている理由

回答全体の中では、「休日・夜間に対応できる病院が少ない」が 69.4%と最も多く、「専門医がいない」が 49.5%、「休日・夜間に対応できる病院がわからない」が 21.5%、「遠い」が 20.5%、「待ち時間が長い」が 16.1%と続いています。

上記(13)で「4　やや不満に感じている」「5　不満に感じている」と回答した方にお伺いします。

（14）　あなたが休日や夜間の医療機関の受入体制について不満に感じている理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



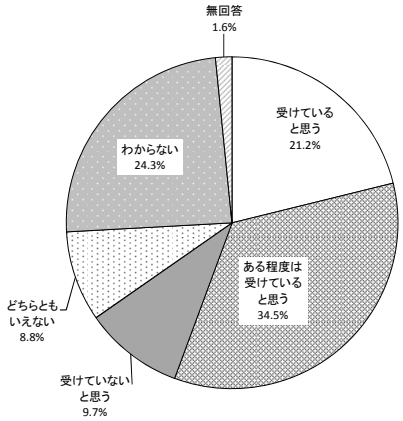
※回答者(317人)中
選択肢を選んだ人の割合

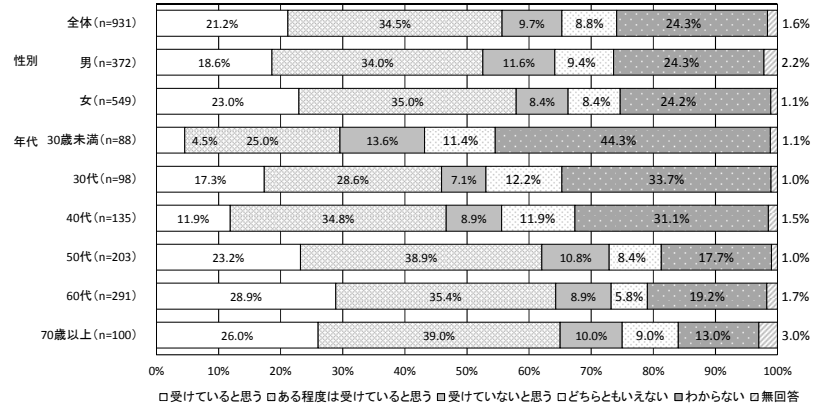
（１５）介護保険・高齢者福祉サービスの受給

回答全体の中では、「ある程度は受けていると思う」が 34.5%と最も多く、「わからない」が 24.3%、「受けていると思う」が 21.2%、「受けていないと思う」が 9.7%、「どちらともいえない」が 8.8%、と続いています。

（15）　あなたは（あるいはあなたの身近な高齢者は）、必要なときに必要な介護保険や高齢者福祉サービスを受けていると思いますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
受けていると思う	197
ある程度は受けていると思う	321
受けていないと思う	90
どちらともいえない	82
わからない	226
無回答	15
合計	931



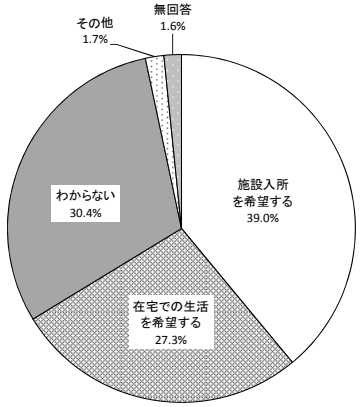


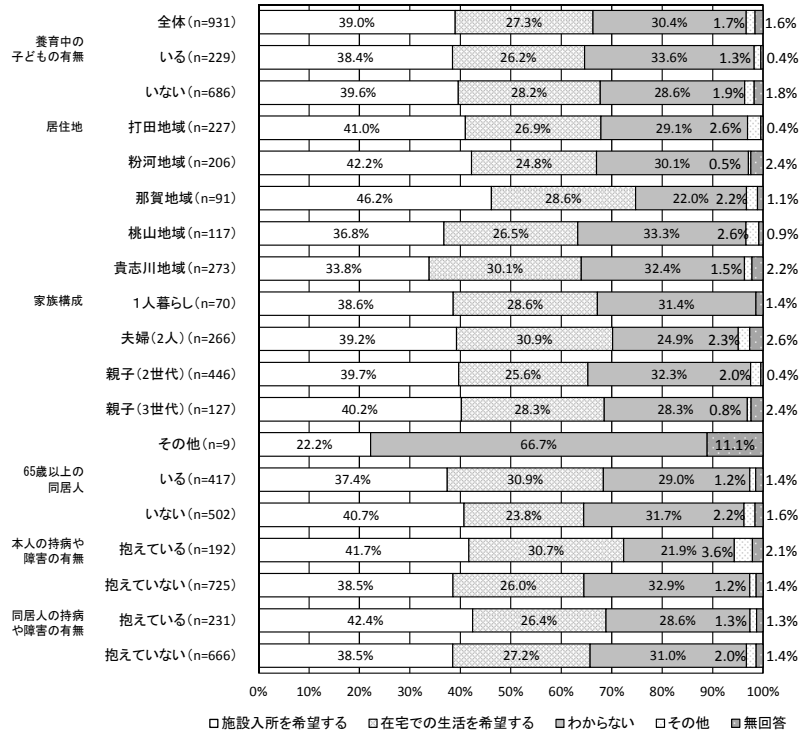
（１６）介護が必要になった時に希望するサービス

回答全体の中では、「施設入所を希望する」が 39.0%と最も多く、「わからない」が 30.4%、「在宅での生活を希望する」が 27.3%と続いています。

（16）	あなたは、介護が必要になったとき、施設入所を希望しますか、在宅での生活を希望しますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
施設入所を希望する	363
在宅での生活を希望する	254
わからない	283
その他	16
無回答	15
合計	931



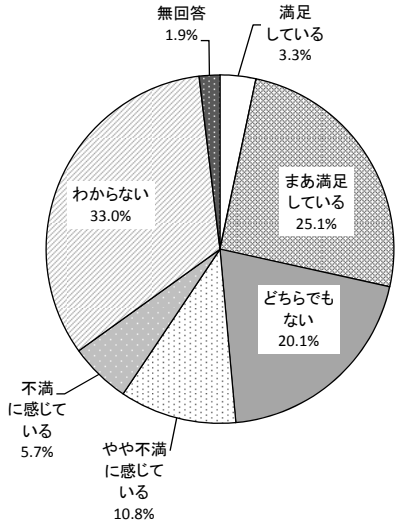


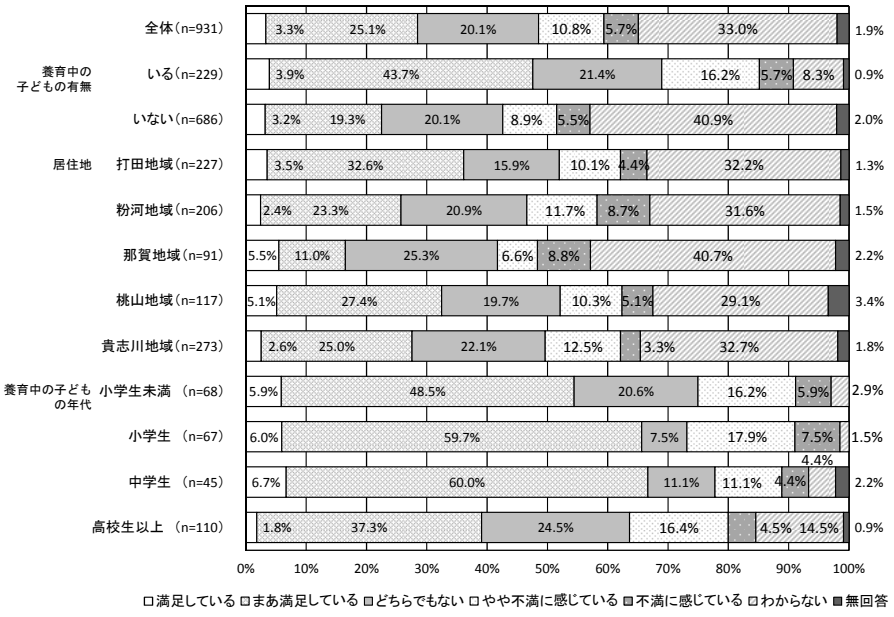
（１７）子育て環境・支援体制

回答全体の中では、「わからない」が 33.0%、と最も多く、「まあ満足している」が 25.1%、「どちらでもない」が 20.1%、「やや不満に感じている」が 10.8%「不満に感じている」が 5.7%、「満足している」が 3.3%と続いています。

（17）	あなたは、地域における子育て環境や支援体制について満足していますか。 （あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
満足している	31
まあ満足している	234
どちらでもない	187
やや不満に感じている	101
不満に感じている	53
わからない	307
無回答	18
合計	931

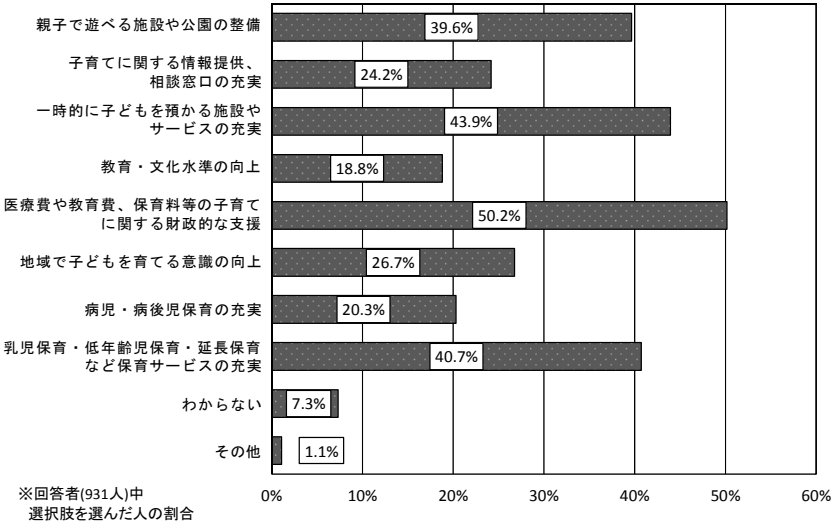




（１８）子育て環境で効果的なもの

回答全体の中では、「医療費や教育費、保育料等の子育てに関する財政的な支援」が 50.2%と最も多く、「一時的に子どもを預かる施設やサービスの充実」が 43.9%、「乳児保育・低年齢児保育・延長保育など保育サービスの充実」が 40.7%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が 39.6%、「地域で子どもを育てる意識の向上」が 26.7%、「子育てに関する情報提供、相談窓口の充実」が 24.2%、「病児・病後児保育の充実」が 20.3%、「教育・文化水準の向上」が 18.8%、「わからない」が 7.3%と続いています。

（18） 子育てしやすい環境にするために効果的なものは、次のうちどれだと思いますか。（あてはまる番号すべてに〇）



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	子ども有無	
		いる (n=229)	いない (n=686)
親子で遊べる施設や公園の整備	39.6%	55.9%	34.4%
子育てに関する情報提供、相談窓口の充実	24.2%	24.5%	24.2%
一時的に子どもを預かる施設やサービスの充実	43.9%	41.5%	45.0%
教育・文化水準の向上	18.8%	27.1%	15.9%
医療費や教育費、保育料等の子育てに関する財政的な支援	50.2%	61.1%	46.9%
地域で子どもを育てる意識の向上	26.7%	23.1%	28.0%
病児・病後児保育の充実	20.3%	28.8%	17.6%
乳児保育・低年齢児保育・延長保育など保育サービスの充実	40.7%	41.0%	40.5%
わからない	7.3%	2.2%	8.7%
その他	1.1%	0.4%	1.2%

	全体 (n=931)	小学生未満 (n=68)	小学生 (n=67)	中学生 (n=45)	高校生以上 (n=110)
親子で遊べる施設や公園の整備	39.6%	77.9%	65.7%	57.8%	40.0%
子育てに関する情報提供、相談窓口の充実	24.2%	26.5%	22.4%	15.6%	22.7%
一時的に子どもを預かる施設やサービスの充実	43.9%	44.1%	41.8%	44.4%	41.8%
教育・文化水準の向上	18.8%	23.5%	26.9%	17.8%	31.8%
医療費や教育費、保育料等の子育てに関する財政的な支援	50.2%	64.7%	71.6%	64.4%	55.5%
地域で子どもを育てる意識の向上	26.7%	26.5%	20.9%	13.3%	26.4%
病児・病後児保育の充実	20.3%	35.3%	29.9%	20.0%	28.2%
乳児保育・低年齢児保育・延長保育など保育サービスの充実	40.7%	52.9%	38.8%	31.1%	39.1%
わからない	7.3%	0.0%	1.5%	2.2%	3.6%
その他	1.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%

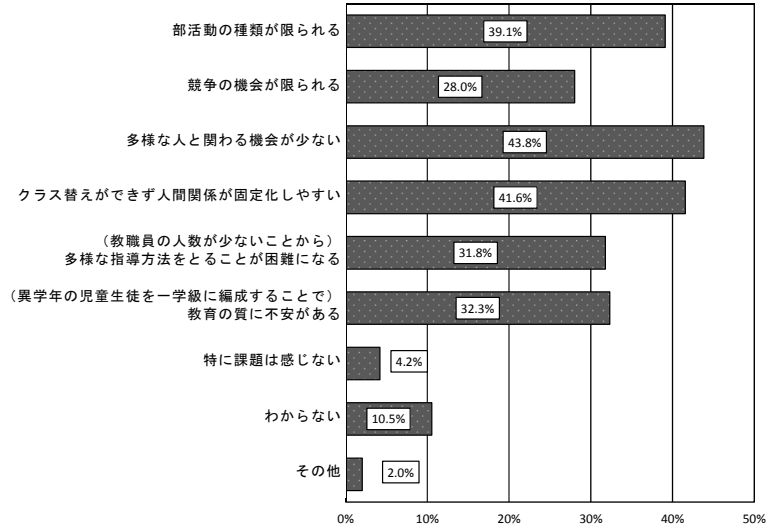
	全体 (n=931)	居住地				
		打田地域 (n=227)	粉河地域 (n=206)	那賀地域 (n=91)	桃山地域 (n=117)	貴志川地域 (n=273)
親子で遊べる施設や公園の整備	39.6%	40.1%	41.7%	38.5%	40.2%	37.7%
子育てに関する情報提供、相談窓口の充実	24.2%	22.9%	23.3%	29.7%	23.9%	24.5%
一時的に子どもを預かる施設やサービスの充実	43.9%	43.6%	39.3%	50.5%	35.0%	50.2%
教育・文化水準の向上	18.8%	20.3%	20.4%	19.8%	14.5%	17.2%
医療費や教育費、保育料等の子育てに関する財政的な支援	50.2%	50.7%	52.4%	48.4%	51.3%	48.7%
地域で子どもを育てる意識の向上	26.7%	26.9%	28.6%	26.4%	22.2%	27.8%
病児・病後児保育の充実	20.3%	21.6%	22.8%	16.5%	20.5%	18.7%
乳児保育・低年齢児保育・延長保育など保育サービスの充実	40.7%	39.6%	39.8%	37.4%	41.9%	42.9%
わからない	7.3%	7.5%	9.7%	4.4%	8.5%	5.9%
その他	1.1%	1.3%	1.0%	2.2%	0.0%	0.7%

■教育・文化

（１９）児童生徒数が減少し続けた場合の教育課題

回答全体の中では、「多様な人と関わる機会が少ない」が 43.8%と最も多く、「クラス替えができず人間関係が固定化しやすい」が 41.6%、「部活動の種類が限られる」が 39.1%、「（異学年の児童生徒を一学級に編成することで）教育の質に不安がある」が 32.3%、「（教職員の人数が少ないことから）多様な指導方法をとることが困難になる」が 31.8%、「競争の機会が限られる」が 28.0%、「わからない」が 10.5%、「特に課題は感じない」が 4.2%、「その他」2.0%と続いています。

（19）	少子化の進行により、紀の川市内の小･中学校においても、一部の学校を除き、児童生徒数が減少し、小規模化が進んでいます。 あなたは、今後、児童生徒数が減少し続けた場合、どのような教育課題が生じると思いますか。（あてはまる番号すべてに〇）



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
部活動の種類が限られる	39.1%	37.5%	37.8%	46.7%	45.3%	35.4%	31.0%
競争の機会が限られる	28.0%	29.5%	37.8%	29.6%	25.6%	26.8%	23.0%
多様な人と関わる機会が少ない	43.8%	47.7%	56.1%	47.4%	38.4%	40.9%	44.0%
クラス替えができず人間関係が固定化しやすい	41.6%	51.1%	55.1%	54.8%	45.3%	34.7%	17.0%
（教職員の人数が少ないことから）多様な指導方法をとることが困難になる	31.8%	25.0%	33.7%	27.4%	36.9%	33.3%	30.0%
（異学年の児童生徒を一学級に編成することで）教育の質に不安がある	32.3%	29.5%	32.7%	32.6%	33.5%	32.0%	33.0%
特に課題は感じない	4.2%	1.1%	4.1%	5.9%	5.9%	4.5%	0.0%
わからない	10.5%	5.7%	5.1%	4.4%	5.4%	16.2%	20.0%
その他	2.0%	1.1%	2.0%	2.2%	2.0%	2.7%	1.0%

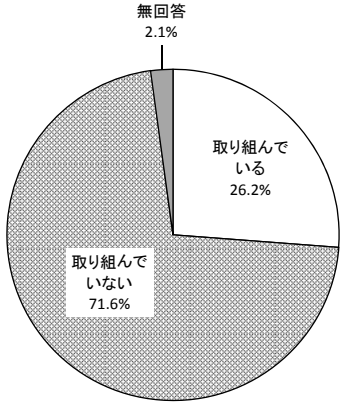
	全体 (n=931)	子ども有無	
		いる (n=229)	いない (n=686)
部活動の種類が限られる	39.1%	51.1%	35.4%
競争の機会が限られる	28.0%	32.8%	26.2%
多様な人と関わる機会が少ない	43.8%	49.8%	42.1%
クラス替えができず人間関係が固定化しやすい	41.6%	61.1%	35.6%
（教職員の人数が少ないことから）多様な指導方法をとることが困難になる	31.8%	31.0%	32.4%
（異学年の児童生徒を一学級に編成することで）教育の質に不安がある	32.3%	34.1%	31.6%
特に課題は感じない	4.2%	2.2%	5.0%
わからない	10.5%	6.1%	11.7%
その他	2.0%	2.2%	2.0%

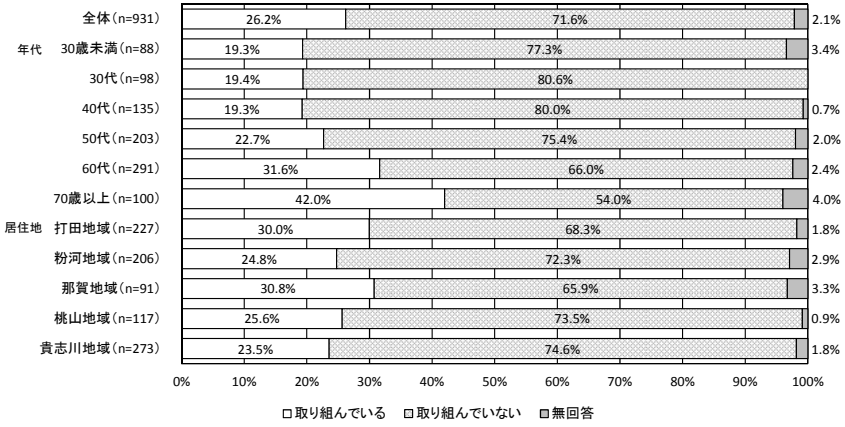
（２０）趣味の会、グループ活動、自主的な学習への取り組み

回答全体の中では、「取り組んでいる」が 26.2%、「取り組んでいない」が 71.6%となっています。

（20） あなたは、趣味の会やグループ活動への参加をはじめ、自主的な学習に取り組んでいますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
取り組んでいる	244
取り組んでいない	667
無回答	20
合計	931

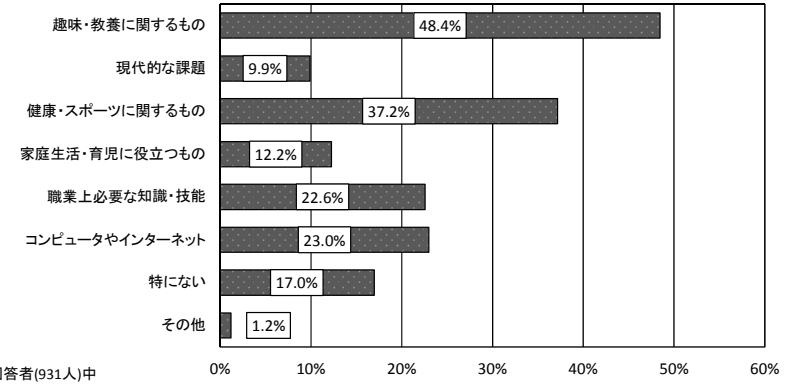




（２１）今後学習したい内容

回答全体の中では、「趣味・教養に関するもの」が 48.4%と最も多く、「健康・スポーツに関するもの」が 37.2%、「コンピュータやインターネット」が 23.0%、「職業上必要な知識・技能」が 22.6%、「特にない」が 17.0%、「家庭生活・育児に役立つもの」が 12.2%、「現代的な課題」が 9.9%、「その他」が 1.2%と続いています。

（21） あなたが今後、学習したいのはどのような内容ですか。（あてはまる番号を 3 つ以内選んで○）



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
趣味・教養に関するもの	48.4%	34.1%	43.9%	53.3%	55.7%	51.5%	35.0%
現代的な課題	9.9%	9.1%	7.1%	6.7%	8.9%	13.7%	8.0%
健康・スポーツに関するもの	37.2%	31.8%	34.7%	47.4%	36.5%	38.1%	32.0%
家庭生活・育児に役立つもの	12.2%	20.5%	42.9%	11.9%	9.9%	5.5%	2.0%
職業上必要な知識・技能	22.6%	44.3%	39.8%	33.3%	17.7%	12.7%	7.0%
コンピュータやインターネット	23.0%	27.3%	24.5%	31.9%	20.2%	21.3%	17.0%
特にない	17.0%	11.4%	9.2%	7.4%	15.3%	21.6%	33.0%
その他	1.2%	1.1%	0.0%	0.7%	0.0%	2.1%	3.0%

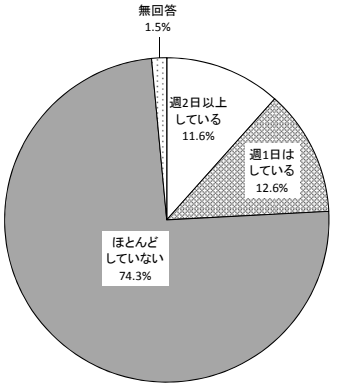
	全体 (n=931)	居住地				
		打田地域 (n=227)	粉河地域 (n=206)	那賀地域 (n=91)	桃山地域 (n=117)	貴志川地域 (n=273)
趣味・教養に関するもの	48.4%	51.1%	41.7%	47.3%	50.4%	51.3%
現代的な課題	9.9%	10.6%	7.8%	17.6%	9.4%	8.4%
健康・スポーツに関するもの	37.2%	40.5%	36.4%	29.7%	34.2%	39.6%
家庭生活・育児に役立つもの	12.2%	16.7%	10.2%	11.0%	14.5%	9.9%
職業上必要な知識・技能	22.6%	22.5%	30.6%	19.8%	17.1%	18.7%
コンピュータやインターネット	23.0%	26.4%	22.8%	23.1%	23.9%	21.2%
特にない	17.0%	14.1%	18.4%	18.7%	21.4%	16.1%
その他	1.2%	0.9%	1.5%	1.1%	0.9%	1.5%

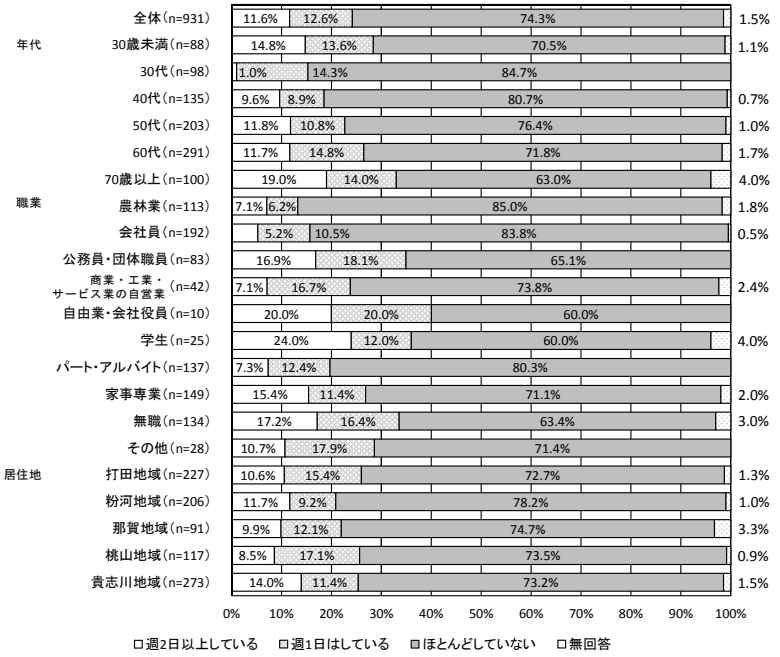
（２２）スポーツをする頻度

回答全体の中では、「ほとんどしていない」が 74.3%と最も多く、「週 1 日はしている」が 12.6%、「週 2 日以上している」 が 11.6%と続いています。

（22）　あなたはスポーツ（運動）を定期的にしていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
週2日以上している	108
週1日はしている	117
ほとんどしていない	692
無回答	14
合計	931





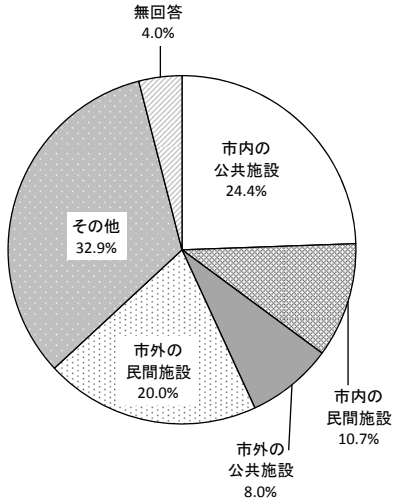
（２３）スポーツをする際に利用する施設や場所

回答全体の中では、「その他」が 32.9%と最も多く、「市内の公共施設」が 24.4%、「市外の民間施設」が 20.0%、「市内の民間施設」が 10.7%、「市外の公共施設」が 8.0%と続いています。

上記(22)で「1 週 2 日以上している」「2 週 1 日はしている」と回答した方にお伺いします。

（23） あなたがスポーツ(運動)をするとき主に利用している施設や場所はどこですか。
(あてはまる番号を 1 つ選んで○)

選択肢	回答数
市内の公共施設	55
市内の民間施設	24
市外の公共施設	18
市外の民間施設	45
その他	74
無回答	9
合計	225



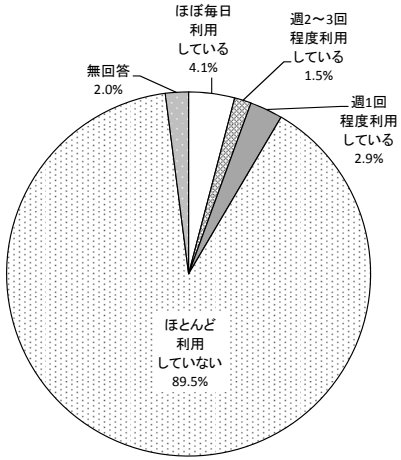
■都市基盤

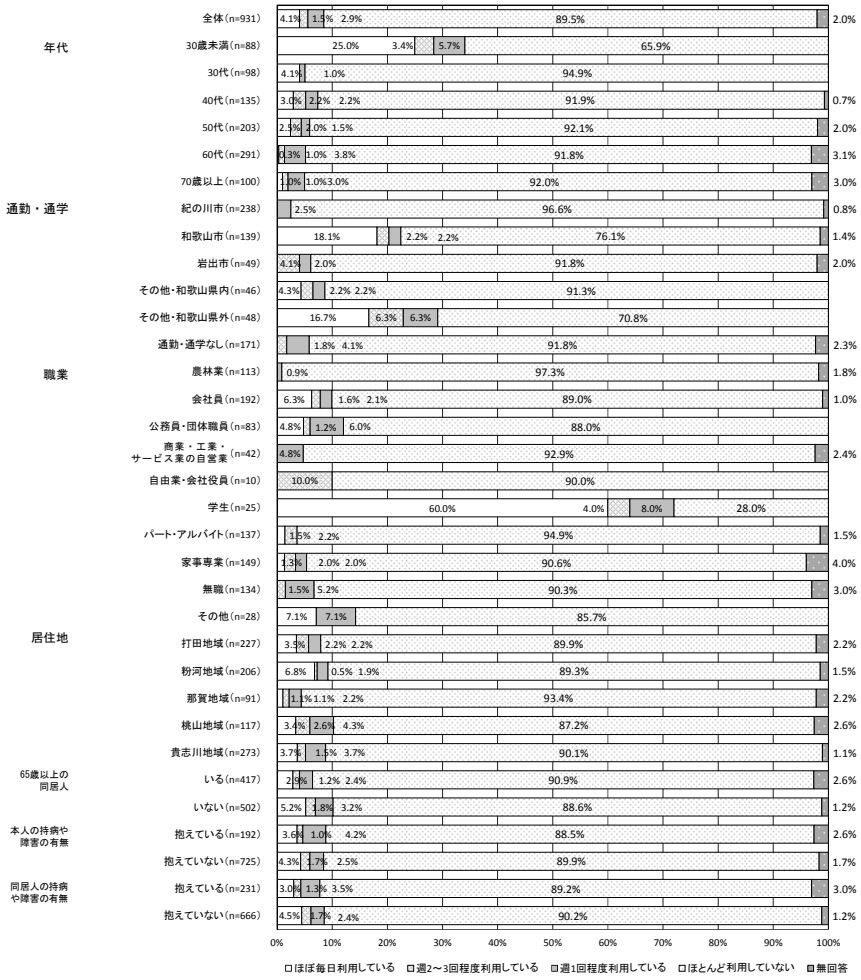
（２４）公共交通機関の利用頻度

回答全体の中では、「ほとんど利用していない」が 89.5%と最も多く、「ほぼ毎日利用している」が 4.1%、「週 1 回程度利用している」が 2.9%、「週 2～3 回程度利用している」が 1.5%と続いています。

（24） あなたは、公共交通機関をどの程度利用していますか。(あてはまる番号を 1 つ選んで○)

選択肢	回答数
ほぼ毎日利用している	38
週2～3回程度利用している	14
週1回程度利用している	27
ほとんど利用していない	833
無回答	19
合計	931



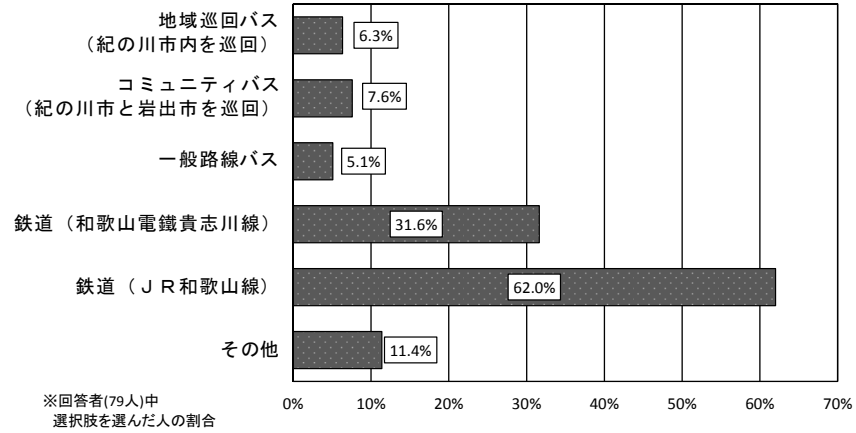


（２５）よく利用する公共交通機関

回答全体の中では、「鉄道（ＪＲ和歌山線）」が 62.0%と最も多く、「鉄道（和歌山電鐵貴志川線）」が 31.6%、「その他」が 11.4%、「コミュニティバス（紀の川市と岩出市を巡回）」が 7.6%、「地域巡回バス（紀の川市内を巡回）」が 6.3%、「一般路線バス」が 5.1%と続いています。

上記（24）で「1 ほぼ毎日利用している」「2 週 2～3 回程度利用している」「3 週 1 日程度利用している」と回答した方にお伺いします。

（25） あなたがよく利用している公共交通機関はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）



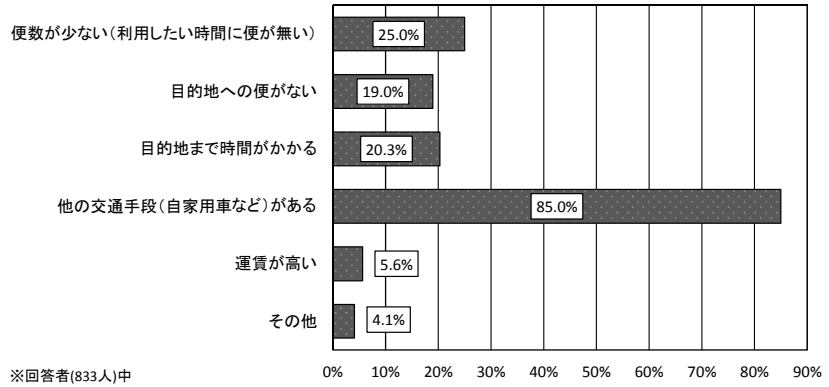
※回答者(79人)中
選択肢を選んだ人の割合

（２６）公共交通機関を利用しない理由

回答全体の中では、「他の交通手段（自家用車など）がある」が 85.0%と最も多く、「便数が少ない（利用したい時間に便が無い）」が 25.0%、「目的地まで時間がかかる」が 20.3%、「目的地への便がない」が 19.0%、「運賃が高い」が 5.6%、「その他」が 4.1%と続いています。

上記(24)で「4 ほとんど利用していない」と回答した方にお伺いします。

（26） あなたが公共交通機関を利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



※回答者(833人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=833)	年代					
		30歳未満 (n=58)	30代 (n=93)	40代 (n=124)	50代 (n=187)	60代 (n=267)	70歳以上 (n=92)
便数が少ない（利用したい時間に便が無い）	25.0%	39.7%	28.0%	34.7%	27.3%	18.0%	18.5%
目的地への便がない	19.0%	24.1%	26.9%	25.0%	20.3%	13.1%	13.0%
目的地まで時間がかかる	20.3%	29.3%	17.2%	26.6%	21.4%	19.5%	10.9%
他の交通手段（自家用車など）がある	85.0%	75.9%	81.7%	86.3%	88.2%	86.9%	80.4%
運賃が高い	5.6%	22.4%	3.2%	5.6%	6.4%	3.4%	1.1%
その他	4.1%	5.2%	3.2%	1.6%	4.3%	4.5%	6.5%

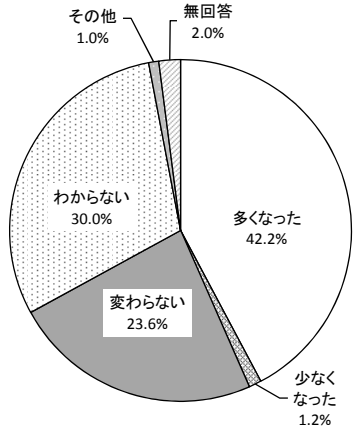
	全体 (n=833)	居住地				
		打田地域 (n=204)	粉河地域 (n=184)	那賀地域 (n=85)	桃山地域 (n=102)	貴志川地域 (n=246)
便数が少ない（利用したい時間に便が無い）	25.0%	33.3%	25.5%	28.2%	24.5%	16.3%
目的地への便がない	19.0%	23.5%	19.0%	11.8%	17.6%	17.9%
目的地まで時間がかかる	20.3%	22.5%	17.9%	27.1%	14.7%	19.9%
他の交通手段（自家用車など）がある	85.0%	85.3%	83.7%	83.5%	85.3%	86.6%
運賃が高い	5.6%	6.4%	4.3%	7.1%	2.9%	6.5%
その他	4.1%	3.9%	4.9%	5.9%	3.9%	3.3%

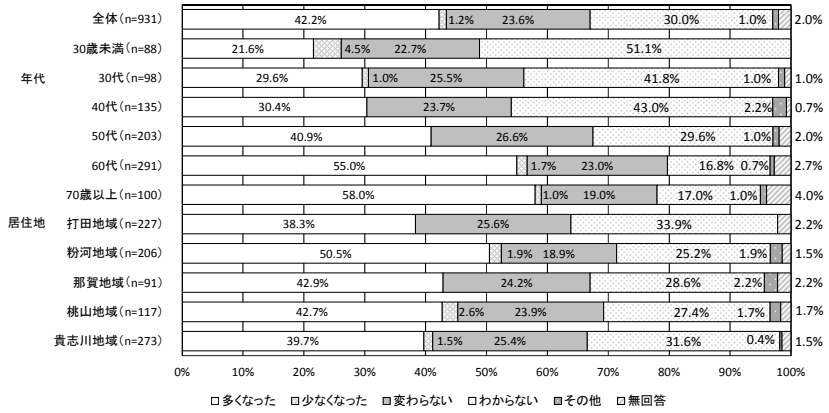
（２７）空き家の状況

回答全体の中では、「多くなった」が 42.2%と最も多く、「わからない」が 30.0%、「変わらない」が 23.6%、「少なくなった」が 1.2%と続いています。

（27） あなたは、近所の空き家の状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号を 1 つ選んで○)

選択肢	回答数
多くなった	393
少なくなった	11
変わらない	220
わからない	279
その他	9
無回答	19
合計	931



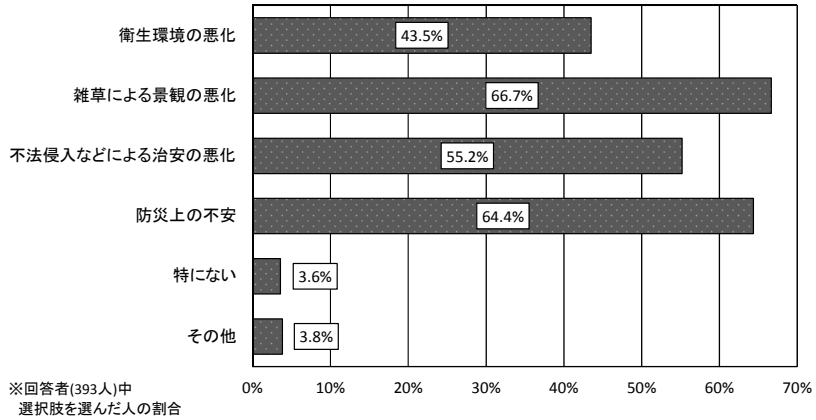


（２８）空き家増加による影響

回答全体の中では、「雑草による景観の悪化」が 66.7%と最も多く、「防災上の不安」が 64.4%、「不法侵入などによる治安の悪化」が 55.2%、「衛生環境の悪化」が 43.5%、「その他」が 3.8%、「特にない」が 3.6%と続いています。

上記（27）で「1 多くなった」と回答した方にお伺います。

（28） あなたは、空き家が多くなったことでどのような影響があると感じていますか。（あてはまる番号すべてに○）



※回答者(393人)中
選択肢を選んだ人の割合

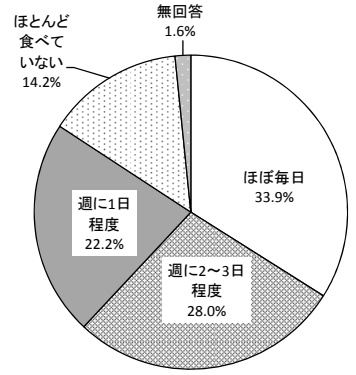
■農業・産業振興

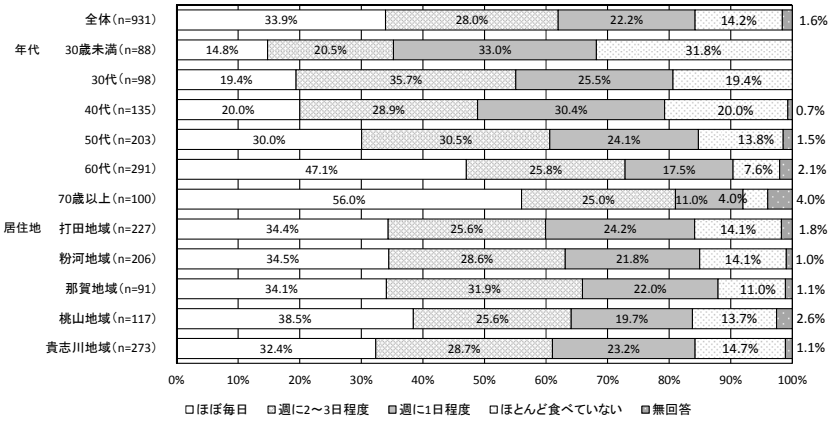
（２９）フルーツを食べる頻度

回答全体の中では、「ほぼ毎日」が 33.9%と最も多く、「週に２～３日程度」が 28.0%、「週に１日程度」が 22.2%、「ほとんど食べていない」が 14.2%と続いています。

（29） あなたは、フルーツをどの程度の頻度で食べていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
ほぼ毎日	316
週に2～3日程度	261
週に1日程度	207
ほとんど食べていない	132
無回答	15
合計	931



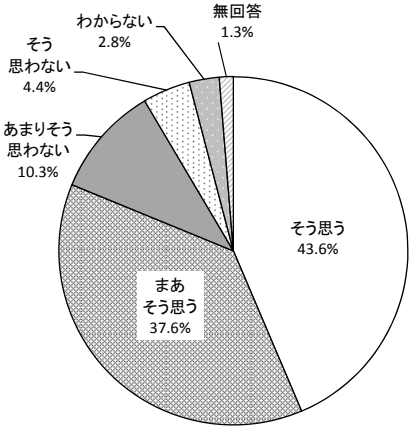


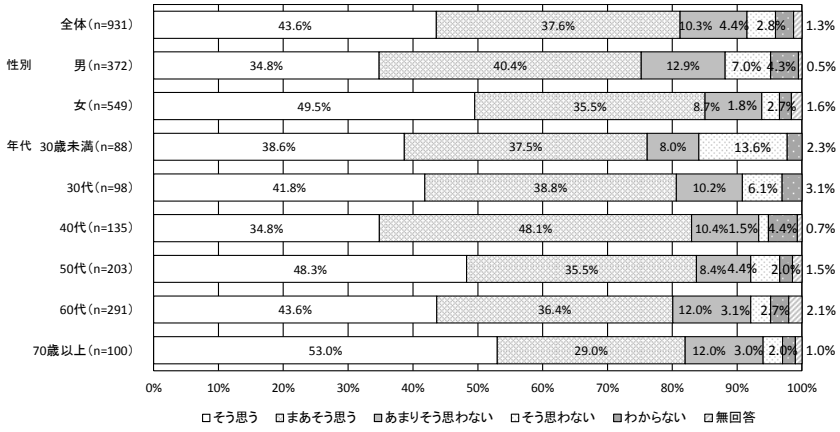
（３０）「フルーツのまち」というイメージの有無

回答全体の中では、「そう思う」が 43.6%と最も多く、「まあそう思う」が 37.6%、「あまりそう思わない」が 10.3%、「そう思わない」が 4.4%、「わからない」が 2.8%と続いています。

（30）　あなたは、「紀の川市はフルーツのまち」というイメージがありますか。
（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
そう思う	406
まあそう思う	350
あまりそう思わない	96
そう思わない	41
わからない	26
無回答	12
合計	931





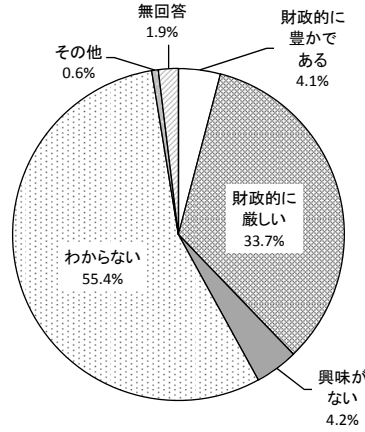
■行財政運営

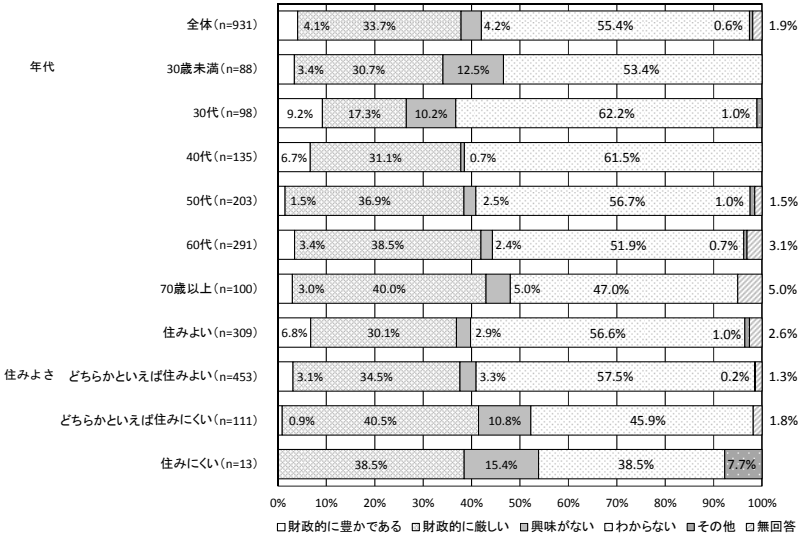
（３１）市の財政状況

回答全体の中では、「わからない」が 55.4%と最も多く、「財政的に厳しい」が 33.7%、「興味がない」が 4.2%、「財政的に豊かである」が 4.1%、「無回答」が 1.9%、「その他」が 0.6%と続いています。

（31）　あなたは、市の財政状況についてどのように思いますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
財政的に豊かである	38
財政的に厳しい	314
興味がない	39
わからない	516
その他	6
無回答	18
合計	931



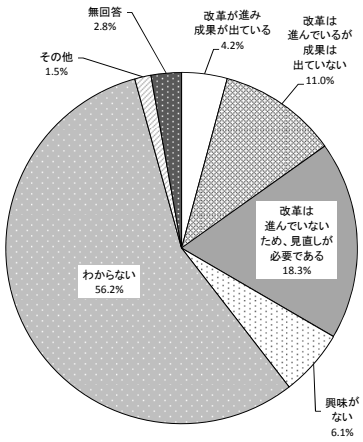


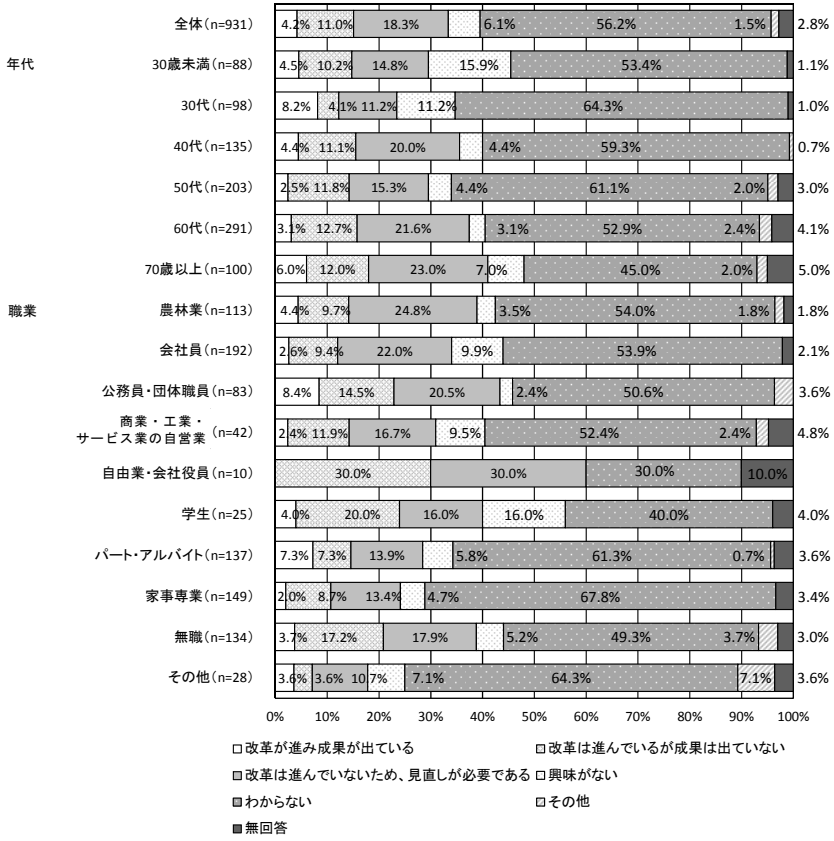
（３２）市の行財政改革

回答全体の中では、「わからない」が 56.2%と最も多く、「改革は進んでいないため、見直しが必要である」が 18.3%、「改革は進んでいるが成果は出ていない」が 11.0%、「興味がない」が 6.1%、「改革が進み成果が出ている」が 4.2%、「その他」が 1.5%と続いています。

(32)	あなたは、市の行財政改革についてどのように感じていますか。 （あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
改革が進み成果が出ている	39
改革は進んでいるが成果は出ていない	102
改革は進んでいないため、見直しが必要である	170
興味がない	57
わからない	523
その他	14
無回答	26
合計	931



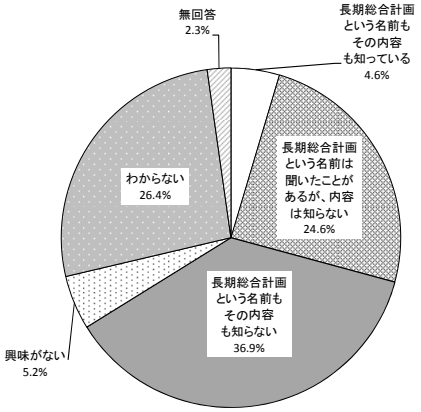


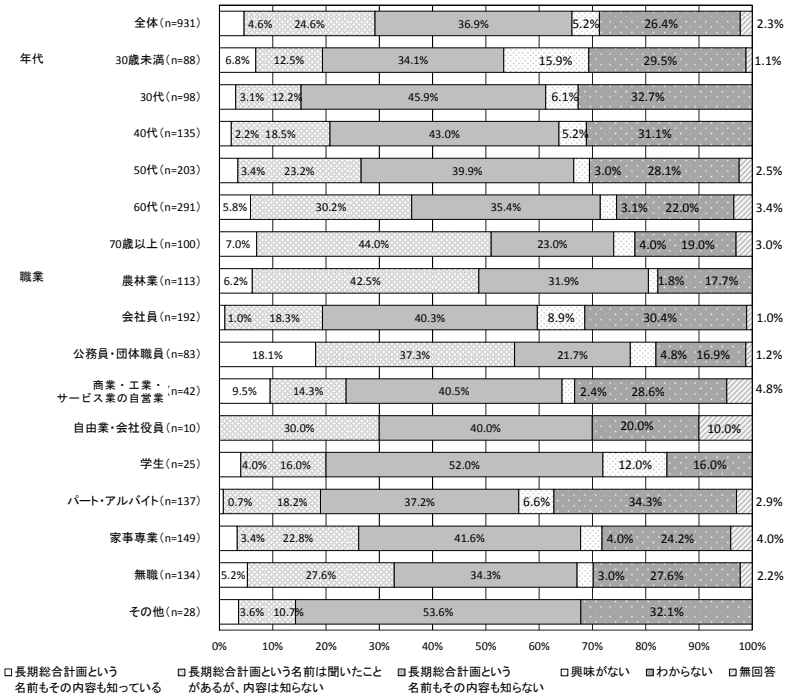
（３３）長期総合計画について知っているか

回答全体の中では、「長期総合計画という名前もその内容も知らない」が 36.9％と最も多く、「わからない」が 26.4％、「長期総合計画という名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 24.6％、「興味がない」 が 5.2％、「長期総合計画という名前もその内容も知っている」 が 4.6％と続いています。

（33）	あなたは、紀の川市の最上位計画である長期総合計画の内容について知っていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

選択肢	回答数
改革が進み成果が出ている	39
改革は進んでいるが成果は出ていない	102
改革は進んでいないため、見直しが必要である	170
興味がない	57
わからない	523
その他	14
無回答	26
合計	931

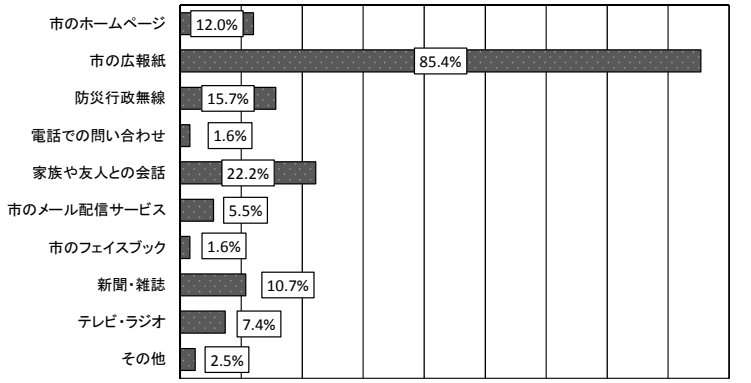




（３４）市の情報を入手する媒体

回答全体の中では、「市の広報紙」が 85.4%と最も多く、「家族や友人との会話」が 22.2%、「防災行政無線」が 15.7%、「市のホームページ」が 12.0%、「新聞・雑誌」が 10.7%、「テレビ・ラジオ」が 7.4%、「市のメール配信サービス」が 5.5%、「電話での問い合わせ」が 1.6%、「市のフェイスブック」が 1.6%、「その他」が 2.5%と続いています。

（34）　あなたは、市の情報をどのような媒体で入手していますか。（あてはまる番号すべてに○）



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

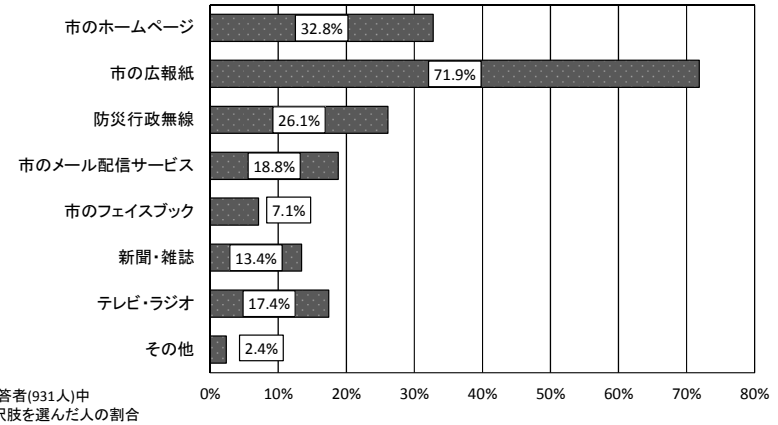
	全体 (n=931)	性別	
		男 (n=372)	女 (n=549)
市のホームページ	12.0%	15.6%	9.5%
市の広報紙	85.4%	82.8%	87.8%
防災行政無線	15.7%	14.2%	16.9%
電話での問い合わせ	1.6%	1.1%	2.0%
家族や友人との会話	22.2%	20.4%	23.5%
市のメール配信サービス	5.5%	4.6%	6.2%
市のフェイスブック	1.6%	1.6%	1.6%
新聞・雑誌	10.7%	12.4%	9.7%
テレビ・ラジオ	7.4%	7.8%	7.1%
その他	2.5%	3.2%	1.8%

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
市のホームページ	12.0%	15.9%	19.4%	14.1%	12.8%	8.2%	7.0%
市の広報紙	85.4%	62.5%	77.6%	88.1%	89.7%	90.4%	89.0%
防災行政無線	15.7%	5.7%	16.3%	12.6%	16.3%	18.9%	18.0%
電話での問い合わせ	1.6%	1.1%	0.0%	2.2%	1.5%	2.1%	2.0%
家族や友人との会話	22.2%	34.1%	27.6%	19.3%	17.7%	20.6%	25.0%
市のメール配信サービス	5.5%	2.3%	9.2%	8.1%	5.9%	4.5%	3.0%
市のフェイスブック	1.6%	3.4%	3.1%	1.5%	0.5%	0.7%	4.0%
新聞・雑誌	10.7%	5.7%	5.1%	11.1%	8.9%	13.4%	17.0%
テレビ・ラジオ	7.4%	6.8%	4.1%	8.9%	5.9%	8.6%	9.0%
その他	2.5%	9.1%	3.1%	3.0%	0.0%	1.4%	3.0%

（３５）充実・強化する情報発信媒体

回答全体の中では、「市の広報紙」が 71.9%と最も多く、「市のホームページ」が 32.8%、「防災行政無線」が 26.1%、「市のメール配信サービス」が 18.8%、「テレビ・ラジオ」が 17.4%、「新聞・雑誌」が 13.4%、「市のフェイスブック」が 7.1%、「その他」が 2.4%と続いています。

（35）　今後、市が情報発信するにあたって、充実・強化していく必要があると考えられる媒体はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

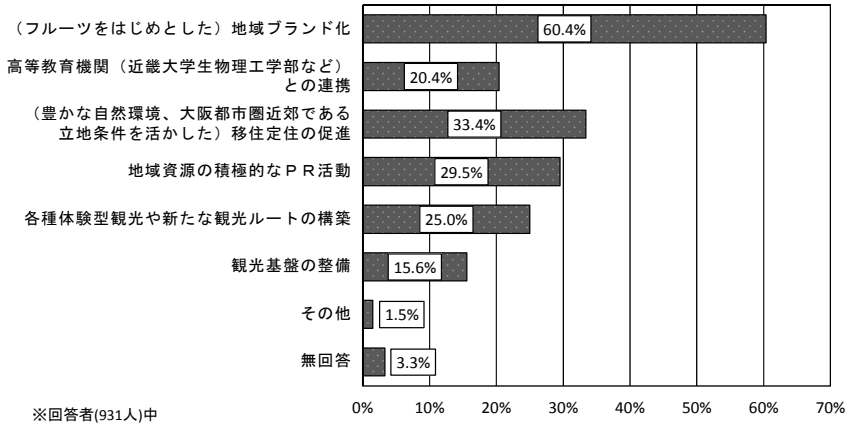
	全体 (n=931)	性別	
		男 (n=372)	女 (n=549)
市のホームページ	32.8%	38.4%	29.1%
市の広報紙	71.9%	71.5%	72.3%
防災行政無線	26.1%	24.2%	27.7%
市のメール配信サービス	18.8%	19.1%	18.9%
市のフェイスブック	7.1%	8.1%	6.6%
新聞・雑誌	13.4%	12.6%	14.0%
テレビ・ラジオ	17.4%	15.9%	18.6%
その他	2.4%	2.2%	2.6%

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
市のホームページ	32.8%	36.4%	44.9%	39.3%	40.4%	23.0%	22.0%
市の広報紙	71.9%	47.7%	60.2%	65.2%	75.9%	79.0%	85.0%
防災行政無線	26.1%	18.2%	19.4%	18.5%	25.6%	32.0%	36.0%
市のメール配信サービス	18.8%	17.0%	18.4%	31.9%	20.2%	14.1%	15.0%
市のフェイスブック	7.1%	11.4%	17.3%	9.6%	5.9%	2.7%	5.0%
新聞・雑誌	13.4%	20.5%	15.3%	14.8%	12.3%	12.0%	11.0%
テレビ・ラジオ	17.4%	29.5%	15.3%	20.7%	16.7%	15.1%	13.0%
その他	2.4%	2.3%	2.0%	4.4%	1.5%	3.1%	0.0%

５．紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（問５）

（１）地域資源を活かした魅力あるまち

回答全体の中では、「（フルーツをはじめとした）地域ブランド化」が 60.4%と最も多く、「（豊かな自然環境、大阪都市圏近郊である立地条件を活かした）移住定住の促進」が 33.4%、「地域資源の積極的なＰＲ活動」が 29.5%、「各種体験型観光や新たな観光ルートの構築」が 25.0%、「高等教育機関（近畿大学生物理工学部など）との連携」が 20.4%、「観光基盤の整備」が 15.6%、「その他」が 1.5%と続いています。



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
（フルーツをはじめとした）地域ブランド化	60.4%	64.8%	63.3%	70.4%	66.0%	55.0%	51.0%
高等教育機関（近畿大学生物理工学部など）との連携	20.4%	20.5%	20.4%	25.2%	17.7%	18.9%	23.0%
（豊かな自然環境、大阪都市圏近郊である立地条件を活かした）移住定住の促進	33.4%	28.4%	24.5%	35.6%	36.9%	36.4%	32.0%
地域資源の積極的なＰＲ活動	29.5%	21.6%	31.6%	20.7%	25.6%	37.8%	31.0%
各種体験型観光や新たな観光ルートの構築	25.0%	25.0%	34.7%	26.7%	26.6%	21.6%	24.0%
観光基盤の整備	15.6%	26.1%	16.3%	14.1%	15.8%	15.1%	10.0%
その他	1.5%	3.4%	0.0%	0.7%	1.5%	2.1%	0.0%

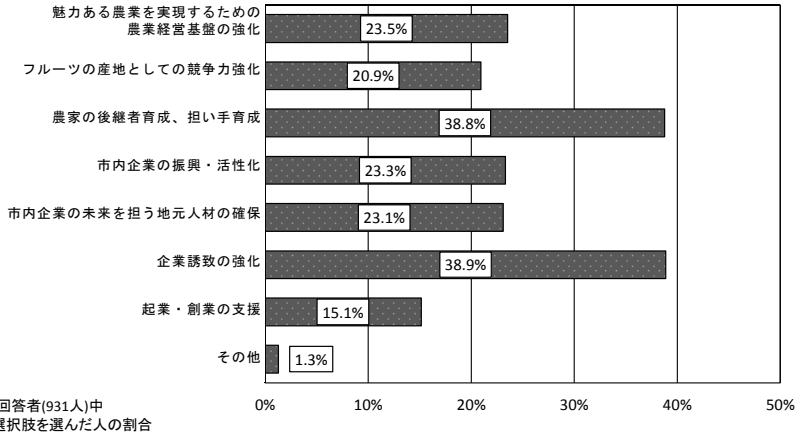
	全体 (n=931)	職業									
		農林業 (n=113)	会社員 (n=192)	公務員・団体職員 (n=83)	商業・工業・サービス業の自営業 (n=42)	自由業・会社役員 (n=10)	学生 (n=25)	パート・アルバイト (n=137)	家事専業 (n=149)	無職 (n=134)	その他 (n=28)
（フルーツをはじめとした）地域ブランド化	60.4%	69.9%	66.1%	66.3%	69.0%	40.0%	72.0%	55.5%	59.1%	50.7%	50.0%
高等教育機関（近畿大学生物理工学部など）との連携	20.4%	17.7%	20.8%	19.3%	19.0%	20.0%	20.0%	23.4%	20.8%	18.7%	32.1%
（豊かな自然環境、大阪都市圏近郊である立地条件を活かした）移住定住の促進	33.4%	26.5%	33.3%	32.5%	38.1%	30.0%	16.0%	39.4%	36.2%	37.3%	25.0%
地域資源の積極的なＰＲ活動	29.5%	40.7%	31.8%	25.3%	26.2%	30.0%	32.0%	21.9%	28.9%	29.9%	35.7%
各種体験型観光や新たな観光ルートの構築	25.0%	21.2%	22.4%	31.3%	31.0%	30.0%	36.0%	27.7%	26.2%	20.9%	25.0%
観光基盤の整備	15.6%	10.6%	19.8%	7.2%	9.5%	30.0%	20.0%	16.1%	15.4%	19.4%	14.3%
その他	1.5%	0.9%	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	4.0%	1.5%	1.3%	2.2%	7.1%

	全体 (n=931)	通勤・通学					
		紀の川市 (n=238)	和歌山市 (n=139)	岩出市 (n=49)	その他・和歌山県内 (n=46)	その他・和歌山県外 (n=48)	通勤・通学なし (n=171)
（フルーツをはじめとした）地域ブランド化	60.4%	64.3%	67.6%	55.1%	58.7%	66.7%	62.6%
高等教育機関（近畿大学生物理工学部など）との連携	20.4%	18.1%	22.3%	20.4%	30.4%	18.8%	19.9%
（豊かな自然環境、大阪都市圏近郊である立地条件を活かした）移住定住の促進	33.4%	31.1%	29.5%	51.0%	37.0%	29.2%	38.0%
地域資源の積極的なＰＲ活動	29.5%	27.7%	30.2%	30.6%	21.7%	18.8%	38.0%
各種体験型観光や新たな観光ルートの構築	25.0%	26.9%	26.6%	20.4%	21.7%	41.7%	21.6%
観光基盤の整備	15.6%	17.2%	16.5%	18.4%	13.0%	12.5%	16.4%
その他	1.5%	1.7%	0.7%	0.0%	2.2%	0.0%	0.6%

	全体 (n=931)	定住意向					
		住み続けたい (n=539)	当分住み続けたい (n=181)	いずれは転居したい (n=62)	すぐにでも転居したい (n=6)	転居する予定である (n=12)	わからない (n=86)
（フルーツをはじめとした）地域ブランド化	60.4%	63.3%	62.4%	53.2%	0.0%	41.7%	55.8%
高等教育機関（近畿大学生物理工学部など）との連携	20.4%	21.3%	17.1%	21.0%	16.7%	41.7%	19.8%
（豊かな自然環境、大阪都市圏近郊である立地条件を活かした）移住定住の促進	33.4%	31.9%	32.6%	45.2%	50.0%	50.0%	33.7%
地域資源の積極的なＰＲ活動	29.5%	31.7%	27.6%	30.6%	50.0%	25.0%	20.9%
各種体験型観光や新たな観光ルートの構築	25.0%	24.3%	24.3%	25.8%	33.3%	8.3%	30.2%
観光基盤の整備	15.6%	14.1%	16.6%	12.9%	33.3%	25.0%	23.3%
その他	1.5%	1.3%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%

（２）魅力ある仕事・職場のあるまち

回答全体の中では、「企業誘致の強化」が 38.9%と最も多く、「農家の後継者育成、担い手育成」が 38.8%、「魅力ある農業を実現するための農業経営基盤の強化」が 23.5%、「市内企業の振興・活性化」が 23.3%、「市内企業の未来を担う地元人材の確保」が 23.1%、「フルーツの産地としての競争力強化」が 20.9%、「起業・創業の支援」が 15.1%、「その他」が 1.3%と続いています。



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
魅力ある農業を実現するための農業経営基盤の強化	23.5%	26.1%	25.5%	20.7%	22.7%	24.4%	26.0%
フルーツの産地としての競争力強化	20.9%	21.6%	22.4%	17.8%	26.1%	17.9%	21.0%
農家の後継者育成、担い手育成	38.8%	29.5%	44.9%	31.9%	40.9%	40.2%	46.0%
市内企業の振興・活性化	23.3%	42.0%	18.4%	28.9%	16.3%	23.0%	21.0%
市内企業の未来を担う地元人材の確保	23.1%	28.4%	18.4%	24.4%	22.7%	23.7%	24.0%
企業誘致の強化	38.9%	23.9%	37.8%	43.0%	44.3%	41.6%	31.0%
起業・創業の支援	15.1%	17.0%	19.4%	21.5%	16.3%	12.4%	7.0%
その他	1.3%	2.3%	1.0%	1.5%	1.5%	1.4%	0.0%

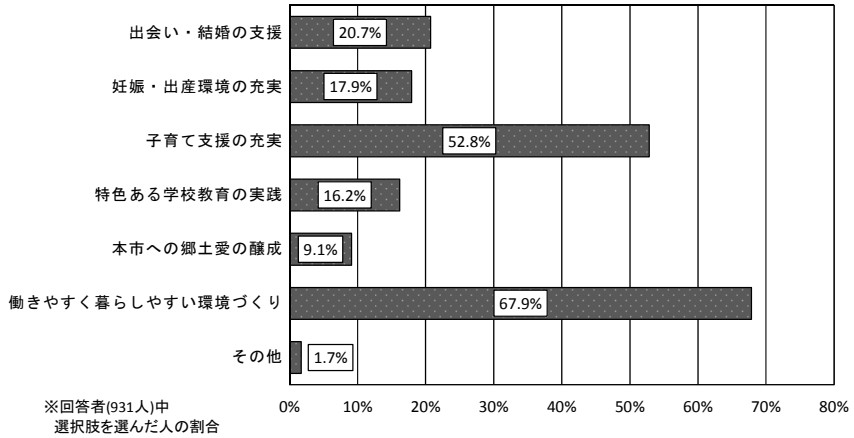
	全体 (n=931)	職業									
		農林業 (n=113)	会社員 (n=192)	公務員・団体職員 (n=83)	商業・工業・サービス業の自営業 (n=42)	自由業・会社役員 (n=10)	学生 (n=25)	パート・アルバイト (n=137)	家事専業 (n=149)	無職 (n=134)	その他 (n=28)
魅力ある農業を実現するための農業経営基盤の強化	23.5%	44.2%	25.0%	24.1%	14.3%	30.0%	28.0%	16.1%	18.8%	18.7%	35.7%
フルーツの産地としての競争力強化	20.9%	26.5%	20.3%	22.9%	21.4%	20.0%	28.0%	20.4%	18.1%	20.9%	14.3%
農家の後継者育成、担い手育成	38.8%	58.4%	32.3%	36.1%	38.1%	50.0%	28.0%	40.9%	34.9%	39.6%	35.7%
市内企業の振興・活性化	23.3%	10.6%	23.4%	22.9%	26.2%	20.0%	40.0%	25.5%	32.2%	22.4%	7.1%
市内企業の未来を担う地元人材の確保	23.1%	15.0%	22.9%	18.1%	23.8%	50.0%	32.0%	23.4%	28.9%	22.4%	35.7%
企業誘致の強化	38.9%	24.8%	45.8%	39.8%	40.5%	10.0%	20.0%	45.3%	41.6%	40.3%	35.7%
起業・創業の支援	15.1%	8.8%	19.3%	19.3%	23.8%	0.0%	16.0%	19.7%	9.4%	12.7%	14.3%
その他	1.3%	0.9%	1.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	1.3%	1.5%	3.6%

	全体 (n=931)	通勤・通学					
		紀の川市 (n=238)	和歌山市 (n=139)	岩出市 (n=49)	その他・和歌山県内 (n=46)	その他・和歌山県外 (n=48)	通勤・通学なし (n=171)
魅力ある農業を実現するための農業経営基盤の強化	23.5%	23.9%	21.6%	22.4%	13.0%	27.1%	28.1%
フルーツの産地としての競争力強化	20.9%	16.8%	25.9%	22.4%	21.7%	31.3%	21.6%
農家の後継者育成、担い手育成	38.8%	40.3%	34.5%	30.6%	39.1%	25.0%	45.0%
市内企業の振興・活性化	23.3%	21.0%	30.2%	30.6%	10.9%	29.2%	22.2%
市内企業の未来を担う地元人材の確保	23.1%	23.5%	19.4%	26.5%	13.0%	29.2%	24.6%
企業誘致の強化	38.9%	42.4%	38.8%	42.9%	60.9%	29.2%	40.4%
起業・創業の支援	15.1%	18.1%	18.0%	20.4%	30.4%	16.7%	8.2%
その他	1.3%	1.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

	全体 (n=931)	定住意向					
		住み続けたい (n=539)	当分住み続けたい (n=181)	いずれは転居したい (n=62)	すぐにでも転居したい (n=6)	転居する予定である (n=12)	わからない (n=86)
魅力ある農業を実現するための農業経営基盤の強化	23.5%	25.8%	16.0%	19.4%	0.0%	33.3%	26.7%
フルーツの産地としての競争力強化	20.9%	20.6%	23.2%	24.2%	0.0%	8.3%	16.3%
農家の後継者育成、担い手育成	38.8%	42.5%	32.6%	33.9%	16.7%	41.7%	30.2%
市内企業の振興・活性化	23.3%	23.6%	24.9%	22.6%	66.7%	16.7%	25.6%
市内企業の未来を担う地元人材の確保	23.1%	22.1%	28.7%	29.0%	0.0%	16.7%	15.1%
企業誘致の強化	38.9%	38.0%	38.7%	41.9%	83.3%	25.0%	45.3%
起業・創業の支援	15.1%	12.1%	19.9%	17.7%	16.7%	16.7%	25.6%
その他	1.3%	0.9%	2.2%	1.6%	0.0%	0.0%	2.3%

（３）若い世代から選ばれるまち

回答全体の中では、「働きやすく暮らしやすい環境づくり」が 67.9%と最も多く、「子育て支援の充実」が 52.8%、「出会い・結婚の支援」が 20.7%、「妊娠・出産環境の充実」が 17.9%、「特色ある学校教育の実践」が 16.2%、「本市への郷土愛の醸成」が 9.1%、「その他」が 1.7%と続いています。



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
出会い・結婚の支援	20.7%	23.9%	13.3%	13.3%	22.2%	23.7%	24.0%
妊娠・出産環境の充実	17.9%	28.4%	36.7%	17.8%	18.2%	12.4%	8.0%
子育て支援の充実	52.8%	64.8%	63.3%	60.7%	57.1%	46.0%	37.0%
特色ある学校教育の実践	16.2%	12.5%	22.4%	20.0%	13.3%	15.5%	18.0%
本市への郷土愛の醸成	9.1%	5.7%	8.2%	5.9%	4.4%	12.7%	18.0%
働きやすく暮らしやすい環境づくり	67.9%	58.0%	45.9%	72.6%	73.9%	74.6%	66.0%
その他	1.7%	0.0%	2.0%	3.0%	1.5%	2.1%	1.0%

	全体 (n=931)	職業									
		農林業 (n=113)	会社員 (n=192)	公務員・団体職員 (n=83)	商業・工業・サービス業の自営業 (n=42)	自由業・会社役員 (n=10)	学生 (n=25)	パート・アルバイト (n=137)	家事専業 (n=149)	無職 (n=134)	その他 (n=28)
出会い・結婚の支援	20.7%	22.1%	19.8%	18.1%	26.2%	0.0%	20.0%	21.2%	20.1%	22.4%	32.1%
妊娠・出産環境の充実	17.9%	11.5%	18.8%	21.7%	11.9%	20.0%	32.0%	19.0%	18.1%	14.9%	35.7%
子育て支援の充実	52.8%	50.4%	59.9%	57.8%	47.6%	60.0%	56.0%	56.2%	53.7%	45.5%	28.6%
特色ある学校教育の実践	16.2%	11.5%	19.3%	15.7%	23.8%	30.0%	16.0%	15.3%	19.5%	11.2%	17.9%
本市への郷土愛の醸成	9.1%	13.3%	7.3%	6.0%	9.5%	30.0%	16.0%	5.1%	4.7%	17.9%	7.1%
働きやすく暮らしやすい環境づくり	67.9%	72.6%	66.1%	65.1%	73.8%	40.0%	52.0%	75.9%	70.5%	66.4%	64.3%
その他	1.7%	3.5%	1.0%	1.2%	0.0%	10.0%	4.0%	0.7%	2.0%	1.5%	3.6%

	全体 (n=931)	通勤・通学					
		紀の川市 (n=238)	和歌山市 (n=139)	岩出市 (n=49)	その他・和歌山県内 (n=46)	その他・和歌山県外 (n=48)	通勤・通学なし (n=171)
出会い・結婚の支援	20.7%	21.0%	20.1%	18.4%	13.0%	20.8%	22.2%
妊娠・出産環境の充実	17.9%	21.0%	20.1%	24.5%	19.6%	18.8%	15.8%
子育て支援の充実	52.8%	52.5%	59.7%	69.4%	65.2%	50.0%	57.9%
特色ある学校教育の実践	16.2%	16.8%	20.1%	10.2%	13.0%	16.7%	15.8%
本市への郷土愛の醸成	9.1%	8.0%	8.6%	4.1%	6.5%	2.1%	9.4%
働きやすく暮らしやすい環境づくり	67.9%	68.9%	61.9%	71.4%	73.9%	75.0%	70.2%
その他	1.7%	1.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%

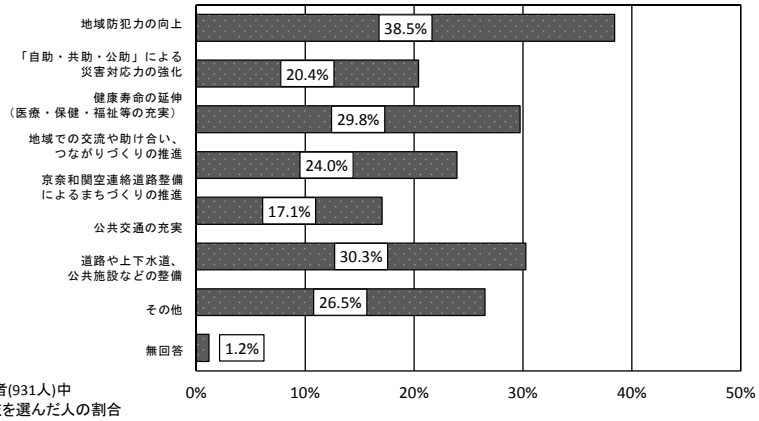
	全体 (n=931)	定住意向					
		住み続けたい (n=539)	当分住み続けたい (n=181)	いずれは転居したい (n=62)	すぐにでも転居したい (n=6)	転居する予定である (n=12)	わからない (n=86)
出会い・結婚の支援	20.7%	21.5%	17.1%	19.4%	16.7%	0.0%	29.1%
妊娠・出産環境の充実	17.9%	17.1%	19.9%	22.6%	0.0%	16.7%	12.8%
子育て支援の充実	52.8%	54.9%	55.8%	37.1%	50.0%	50.0%	43.0%
特色ある学校教育の実践	16.2%	15.0%	17.7%	24.2%	16.7%	16.7%	14.0%
本市への郷土愛の醸成	9.1%	9.3%	8.3%	0.0%	33.3%	25.0%	15.1%
働きやすく暮らしやすい環境づくり	67.9%	67.3%	66.9%	72.6%	83.3%	66.7%	75.6%
その他	1.7%	1.3%	1.1%	4.8%	0.0%	8.3%	2.3%

	全体 (n=931)	居住地				
		打田地域 (n=227)	粉河地域 (n=206)	那賀地域 (n=91)	桃山地域 (n=117)	貴志川地域 (n=273)
出会い・結婚の支援	20.7%	18.1%	18.9%	27.5%	23.9%	21.2%
妊娠・出産環境の充実	17.9%	21.1%	18.4%	15.4%	15.4%	17.6%
子育て支援の充実	52.8%	54.6%	52.9%	47.3%	59.8%	52.0%
特色ある学校教育の実践	16.2%	17.6%	13.6%	17.6%	10.3%	19.4%
本市への郷土愛の醸成	9.1%	8.8%	8.7%	8.8%	9.4%	9.9%
働きやすく暮らしやすい環境づくり	67.9%	65.2%	73.3%	73.6%	65.0%	67.0%
その他	1.7%	2.6%	0.5%	2.2%	2.6%	1.5%

	全体 (n=931)	子ども有無		小学生未満 (n=68)	小学生 (n=67)	中学生 (n=45)	高校生以上 (n=110)	65歳以上	
		いる (n=229)	いない (n=686)					いる (n=417)	いない (n=502)
出会い・結婚の支援	20.7%	11.4%	24.2%	5.9%	3.0%	8.9%	17.3%	23.0%	19.1%
妊娠・出産環境の充実	17.9%	22.7%	16.6%	35.3%	17.9%	17.8%	19.1%	15.8%	19.7%
子育て支援の充実	52.8%	67.7%	48.8%	80.9%	77.6%	64.4%	57.3%	49.6%	56.6%
特色ある学校教育の実践	16.2%	22.3%	14.4%	25.0%	34.3%	24.4%	18.2%	15.6%	17.1%
本市への郷土愛の醸成	9.1%	3.5%	11.1%	2.9%	3.0%	4.4%	4.5%	12.5%	6.4%
働きやすく暮らしやすい環境づくり	67.9%	63.3%	70.6%	42.6%	58.2%	68.9%	75.5%	70.7%	66.7%
その他	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	1.5%	4.4%	2.7%	1.9%	1.6%

（４）安全安心で暮らし続けたいまち

回答全体の中では、「地域防犯力の向上」が 38.5%と最も多く、「公共交通の充実」が 30.3%、「健康寿命の延伸（医療・保健・福祉等の充実)」が 29.8%、「道路や上下水道、公共施設などの整備」が 26.5%、「地域での交流や助け合い、つながりづくりの推進」が 24.0%、「「自助・共助・公助」による災害対応力の強化」が 20.4%、「京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進」が 17.1%、「その他」が 1.2%と続いています。



※回答者(931人)中
選択肢を選んだ人の割合

	全体 (n=931)	年代					
		30歳未満 (n=88)	30代 (n=98)	40代 (n=135)	50代 (n=203)	60代 (n=291)	70歳以上 (n=100)
地域防犯力の向上	38.5%	48.9%	45.9%	44.4%	41.9%	35.4%	21.0%
「自助・共助・公助」による災害対応力の強化	20.4%	20.5%	25.5%	20.7%	15.8%	23.4%	19.0%
健康寿命の延伸（医療・保健・福祉等の充実）	29.8%	21.6%	21.4%	25.9%	32.0%	36.8%	28.0%
地域での交流や助け合い、つながりづくりの推進	24.0%	18.2%	21.4%	19.3%	22.2%	26.5%	35.0%
京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進	17.1%	17.0%	20.4%	22.2%	16.3%	13.7%	18.0%
公共交通の充実	30.3%	50.0%	31.6%	34.8%	33.0%	22.7%	24.0%
道路や上下水道、公共施設などの整備	26.5%	19.3%	25.5%	25.9%	30.5%	27.5%	28.0%
その他	1.2%	0.0%	0.0%	1.5%	0.5%	2.7%	0.0%

	全体 (n=931)	職業									
		農林業 (n=113)	会社員 (n=192)	公務員・団体職員 (n=83)	商業・工業・サービス業の自営業 (n=42)	自由業・会社役員 (n=10)	学生 (n=25)	パート・アルバイト (n=137)	家事専業 (n=149)	無職 (n=134)	その他 (n=28)
地域防犯力の向上	38.5%	30.1%	47.4%	32.5%	52.4%	30.0%	40.0%	44.5%	38.3%	32.1%	32.1%
「自助・共助・公助」による災害対応力の強化	20.4%	24.8%	15.1%	19.3%	23.8%	40.0%	24.0%	22.6%	22.8%	16.4%	28.6%
健康寿命の延伸（医療・保健・福祉等の充実）	29.8%	30.1%	25.5%	36.1%	23.8%	40.0%	24.0%	25.5%	32.9%	33.6%	39.3%
地域での交流や助け合い、つながりづくりの推進	24.0%	31.9%	19.8%	30.1%	21.4%	0.0%	20.0%	26.3%	25.5%	20.9%	21.4%
京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進	17.1%	18.6%	22.4%	21.7%	14.3%	30.0%	12.0%	18.2%	12.1%	11.9%	17.9%
公共交通の充実	30.3%	19.5%	36.5%	27.7%	21.4%	20.0%	60.0%	32.1%	32.9%	26.9%	28.6%
道路や上下水道、公共施設などの整備	26.5%	30.1%	26.6%	21.7%	35.7%	20.0%	16.0%	23.4%	28.2%	31.3%	21.4%
その他	1.2%	1.8%	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	7.1%

	全体 (n=931)	通勤・通学					
		紀の川市 (n=238)	和歌山市 (n=139)	岩出市 (n=49)	その他・和歌山県内 (n=46)	その他・和歌山県外 (n=48)	通勤・通学なし (n=171)
地域防犯力の向上	38.5%	42.9%	37.4%	38.8%	54.3%	52.1%	35.7%
「自助・共助・公助」による災害対応力の強化	20.4%	16.8%	20.9%	22.4%	26.1%	18.8%	28.7%
健康寿命の延伸（医療・保健・福祉等の充実）	29.8%	30.7%	23.7%	32.7%	17.4%	25.0%	35.7%
地域での交流や助け合い、つながりづくりの推進	24.0%	24.4%	16.5%	22.4%	21.7%	27.1%	26.3%
京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進	17.1%	19.7%	23.0%	10.2%	30.4%	12.5%	10.5%
公共交通の充実	30.3%	29.8%	40.3%	32.7%	30.4%	35.4%	26.9%
道路や上下水道、公共施設などの整備	26.5%	25.2%	30.9%	34.7%	10.9%	20.8%	28.7%
その他	1.2%	1.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

	全体 (n=931)	定住意向					
		住み続けたい (n=539)	当分住み続けたい (n=181)	いずれは転居したい (n=62)	すぐにでも転居したい (n=6)	転居する予定である (n=12)	わからない (n=86)
地域防犯力の向上	38.5%	37.1%	40.9%	37.1%	0.0%	41.7%	45.3%
「自助・共助・公助」による災害対応力の強化	20.4%	22.3%	19.3%	11.3%	0.0%	16.7%	20.9%
健康寿命の延伸（医療・保健・福祉等の充実）	29.8%	32.8%	31.5%	16.1%	0.0%	25.0%	22.1%
地域での交流や助け合い、つながりづくりの推進	24.0%	28.9%	17.1%	14.5%	0.0%	25.0%	19.8%
京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進	17.1%	16.3%	15.5%	29.0%	16.7%	8.3%	16.3%
公共交通の充実	30.3%	23.4%	39.8%	50.0%	66.7%	41.7%	37.2%
道路や上下水道、公共施設などの整備	26.5%	26.7%	22.1%	29.0%	83.3%	16.7%	26.7%
その他	1.2%	0.9%	0.6%	3.2%	0.0%	0.0%	2.3%

	全体 (n=931)	居住地				
		打田地域 (n=227)	粉河地域 (n=206)	那賀地域 (n=91)	桃山地域 (n=117)	貴志川地域 (n=273)
地域防犯力の向上	38.5%	41.0%	36.4%	40.7%	40.2%	38.1%
「自助・共助・公助」による災害対応力の強化	20.4%	22.9%	21.4%	19.8%	20.5%	17.9%
健康寿命の延伸（医療・保健・福祉等の充実）	29.8%	26.0%	33.5%	27.5%	26.5%	33.3%
地域での交流や助け合い、つながりづくりの推進	24.0%	26.0%	22.8%	28.6%	19.7%	23.8%
京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進	17.1%	21.6%	16.0%	20.9%	16.2%	14.3%
公共交通の充実	30.3%	27.3%	25.7%	22.0%	36.8%	37.0%
道路や上下水道、公共施設などの整備	26.5%	24.2%	35.0%	25.3%	23.9%	24.9%
その他	1.2%	1.8%	1.0%	1.1%	2.6%	0.4%

６．自由回答

自由回答については、合併に対する意見や行政運営に対する意見・要望、道路・交通や福祉など、さまざまな分野に対する意見が多数寄せられています。

【自由回答のとりまとめ方法】

自由回答については、内容を確認した上で、現行計画の基本施策で設定した 39 項目に分類して集計しました。分類できない意見は、「その他」として分類しました。また、一つの意見が複数の項目に関連している場合は、関連するすべての項目に振り分けて集計しました。記載内容の大まかな分類と件数は以下のとおりです。

【自由回答について】

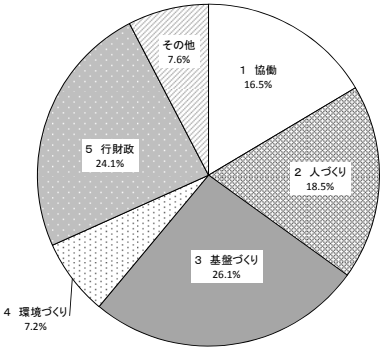
・自由回答の回答数：206 件

・要素ごとに分解された意見数：249 件

（１）自由回答　政策分野別分類

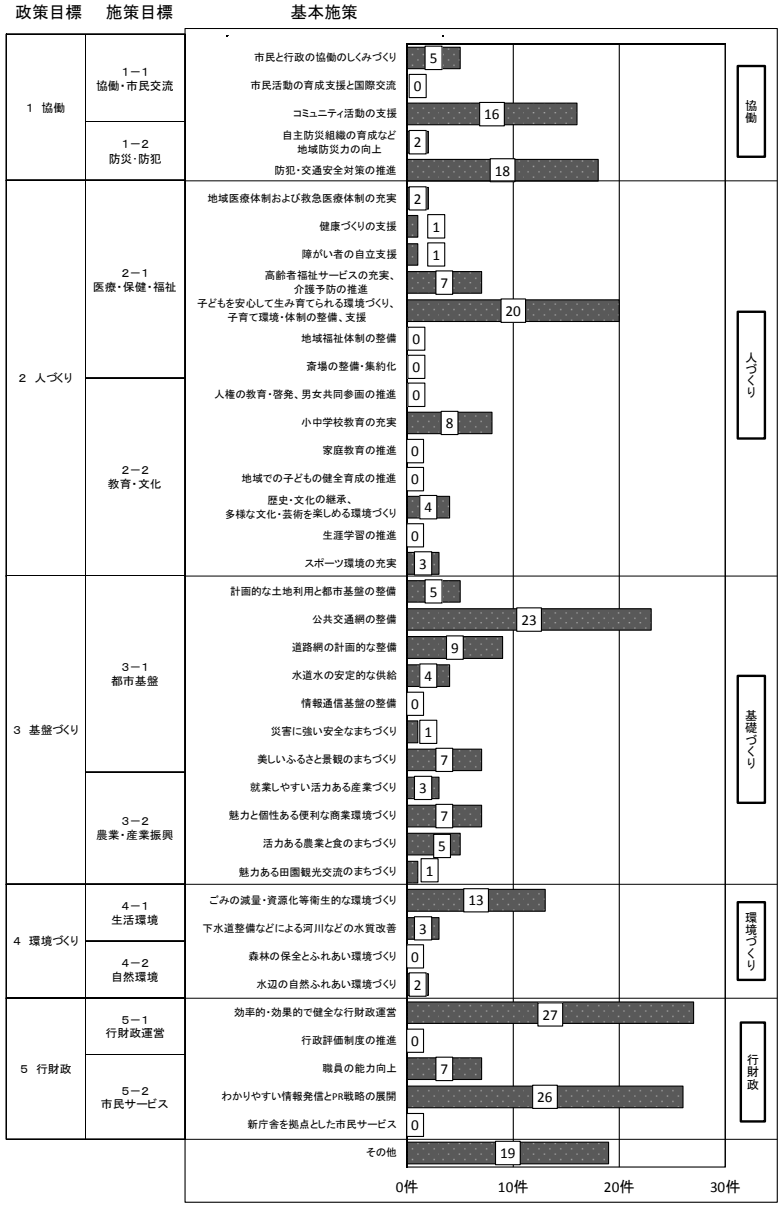
政策分野別に見ると、「基盤づくり」が最も多く、全体の 26.1%を占めており、次いで、「行財政」「人づくり」に関する意見が多くなっています。

政策目標	回答件数
1 協働	41
2 人づくり	46
3 基盤づくり	65
4 環境づくり	18
5 行財政	60
その他	19
合計	249



（２）自由回答　基本施策別分類

基本施策別に見ると、「効率的・効果的で健全な行財政運営」、「わかりやすい情報発信と PR 戦略の展開」、「公共交通の整備」の割合が多くなっています。



（３）自由回答　政策目標ごと自由回答の傾向

政策目標１「協働　ともに参加し行動するまち」

１－１　協働・市民交流

協働・市民交流の分野では、「市民と行政の協働のしくみづくり」、「コミュニティ活動の支援」に関しての意見がありました。

「市民と行政の協働のしくみづくり」に関しては、アンケート等の調査実施に対して工夫を求める意見や市民からの意見・提案を収集する手段の設置を求める意見がありました。一方、「コミュニティ活動の支援」に関する意見としては、既存の施設の周知や有効活用の促進、新設された図書館のサービスの充実、コミュニティ活動の周知・活発化に関する意見がありました。

１－２　防災・防犯

防災・防犯の分野では、「自主防災組織の育成など地域防災力の向上」、「防犯・交通安全対策の推進」に関しての意見がありました。

「自主防災組織の育成など地域防災力の向上」に関しては、防災意識の向上が挙げられ、「防犯・交通安全対策の推進」に関する意見としては、駅付近での駐車違反や自転車・自動車の交通マナーの改善、高齢者・学生の通学路・歩道での安全確保など、普段の生活の中での安全確保に関しての意見が見られました。また、夜道の外灯設置の他、空き家対策を求める意見がありました。

○基本施策ごとの代表的な意見

１－１－１　市民と行政の協働のしくみづくり（５件）

・　アンケートの配布を他の季節にしていただければ、時間にゆとりを持って答えられたと思います。

１－１－３　コミュニティ活動の支援（16 件）

・　もう少し粉河のふるさとセンターを活用されては？有名歌手や芸能人のコンサートや舞台の招致、コミケやフリマなど人が集まるイベントなどなど
・　河南図書館の開館を大変喜んでいますが内容の充実は乏しく、新鮮さに欠け魅力がありません。河北図書館も然り。職員のフレッシュさややる気も今一歩かと残念です。私の周りの方々もこのことについて話が出るたびに「行きたいと思わない」といわれると私自身が身の細る思いにかられます。ぜひ魅力ある図書館に改善を願います。

１－２－１　自主防災組織の育成など地域防災力の向上（２件）

・　防災はまず意識の向上を図るべき

１－２－２　防犯・交通安全対策の推進（18 件）

・　貴志駅前の駐車場がないため、通勤、通学、観光に駐停車している車が多く混雑しています。広い駐車場があれば良いと思います。外国人や他市からの観光客が多いからマナーが悪くゴミのポイ捨てが目につき掃除しています。

・　通勤についてできる限り和電貴志川線を利用しているが駅（貴志駅）までの路が暗い（防犯灯が少ない）特に支所から丸栖方面、県道沿い

政策目標２「人づくり　すこやかで感性豊かな人が育つまち」

２－１　医療・保健・福祉

医療・保健・福祉の分野では、「子どもを安心して育てられる環境づくり、子育て環境・体制の整備、支援」、「高齢者福祉サービスの充実、介護予防の推進」、「地域医療体制および救急医療体制の充実」に関しての意見がありました。
「子どもを安心して生み育てられる環境づくり、子育て環境・体制の整備、支援」への意見としては、遊び場や図書館など子どもが利用する施設の整備や、子育て環境の推進を求める意見がありました。「高齢者福祉サービスの充実、介護予防の推進」への意見としては、独居老人の見守りなど今後増加していく高齢者への配慮を求める意見が見られました。「地域医療体制および救急医療体制の充実」に関しては、産婦人科での健康診断について他市の医療機関との連携を求める意見がありました。

２－２　教育・文化

教育・文化の分野では、「小中学校教育の充実」、「歴史・文化の継承、多様な文化・芸術を楽しめる環境づくり」、「スポーツ環境の充実」に関しての意見が多く見られました。
「小中学校教育の充実」に関しては、給食の充実や教育に力を入れてほしいという意見が見られました。「歴史・文化の継承、多様な文化・芸術を楽しめる環境づくり」に関しては、良い名所や文化があるのに活用していないという意見や、それらの活用のため散策ルートを整備してほしいという意見がありました。「スポーツ環境の充実」に関する意見としては、スポーツ施設の誘致・整備が挙げられました。

○基本施策ごとの代表的な意見
２－１－１　地域医療体制および救急医療体制の充実（２件）
・　紀の川市以外（岩出市や和歌山市）での病院でも無料で受けられるようにしてもらいたいです。かかりつけの病院が和歌山市内にあるのでその先生に診てもらいたいからです。ちなみに岩出市は和歌山市内の病院でも無料で受けられるようです。ぜひお願い致します。

２－１－２　健康づくりの支援（１件）
・　主人が長い間病気で生活をしていましたが、役所など、福祉での対応などとてもよくして頂き、とても嬉しく思いました。

２－１－３　障がい者の自立支援（１件）
・　身体障がいを持っているので巡回バスやコミュニティバスの本数を増やしてほしい。高齢者の数が多くなっているように思うが、街が廃れていかない持続できる活動ができたらと思う。障がい者年金や補助金などが充実したらいいと思う。

２－１－４　高齢者福祉サービスの充実、介護予防の推進（７件）
・　子ども、大人が安心して暮らしていると思うから、現状維持でも十分だと思う。１人で住んでいるお年寄りにもっと気を配ってほしい。（話し相手等）

・　今回のアンケートに答えて、今の所、車での移動も出来、特に買い物等も困っていませんが、周辺の住民の方で高齢、一人暮らしの方も多い。子供達も自立し、育ち、自分が高齢になった時に住みやすい地域かと言われると不安に思うなあと思います。高齢者対策、早急な課題だと本当に思います。

２－１－５　子どもを安心して生み育てられる環境づくり、子育て環境・体制の整備、支援（２０件）
・　今年６月末に引越しして来て２カ月程でまだよく分かってないですが、今のところ子供（２歳）を遊ばす場所、公園等がないのが残念です。下に０歳４か月の子も居るので少し時間掛かっても作って貰えると嬉しいなと思います。
・　粉河小学校に隣接するところで住み、夫婦で孫のお守りをしています。大阪の池田小学校の事件の後、小学校の遊具で遊ばすことができず、一番地近くてふるさとセンターのブランコと滑り台しかありません。旧粉河中学校の跡地に公園の整備を強く希望します。また小さくてもいいので図書館の分室の設置もお願いします。
・　財政難で厳しいのは理解できますが、子育て支援を平等にしていただければ、きっと未来の紀の川市に反映されると思います。

２－２－２　小中学校教育の充実（８件）
・　現在の子供たちへの教育レベルが低くなっているように感じる。もっと教育に力を入れて欲しい。
・　給食の充実

２－２－５　歴史・文化の継承、多様な文化・芸術を楽しめる環境づくり（４件）
・　貴志駅～きしべの里～つり橋～大国主神社～国主～平池～甘露寺前駅ルート、遊歩道、散策コースを整備して欲しい。
・　良い名所、旧跡、文化があるのに活用していない。

２－２－７　スポーツ環境の充実（３件）
・　スポーツ施設（有料でも）の誘致
・　紀の川堤防に以前、スポーツ遊具、ストレッチ遊具があったが、プールなどがたてかえてなくなっている。又、紀の川散歩コースに作ってほしい。

政策目標３「基盤づくり　快適で活気があるまち」

３－１　都市基盤

都市基盤の分野では、「公共交通網の整備」、「道路網の計画的な整備」、「美しいふるさと景観のまちづくり」、「計画的な土地利用と都市基盤の整備」に関しての意見が多く見られました。

「公共交通網の整備」に関する意見としては、バスや電車の接続・運転本数など利便性の向上を求める意見や、高齢の利用者への配慮や工夫を求める意見がありました。「道路網の計画的な整備」に関しては安全に通行できるよう道路整備を求める意見がありました。「美しいふるさと景観のまちづくり」に関しては、道路等の美化を求める意見がありました。「計画的な土地利用と都市基盤の整備」に関しては、農地・宅地の整備を求める意見や、空き家・空き地対策を求める意見がありました。他には「災害に強い安全なまちづくり」関して、災害時のためのインフラ整備が行えているのか心配だという意見がありました。

３－２　農業・産業振興

農業・産業振興の分野では、「魅力と個性ある便利な商業環境づくり」、「活力ある農業と食のまちづくり」、「就業しやすい活力ある産業づくり」に関しての意見がありました。

「魅力と個性ある便利な商業環境づくり」に関しては、高齢になった際の買い物場所の心配をする意見がありました。「就業しやすい活力ある産業づくり」に関する意見としては、雇用機会の充実や、長期雇用の場所の設置を求める意見が見られました。「活力ある農業と食のまちづくり」に関しては、更なる農業振興を期待する意見がありました。

○基本施策ごとの代表的な意見

３－１－１　計画的な土地利用と都市基盤の整備（５件）

・　農地ばかりで宅地が少なすぎる。たくさん土地はあるのに家（新築、新居）が建てられていない。
・　これから増えてくるであろう空き家、空き地対策に取り組んでほしい。先祖から受け継いだ土地、家が負の遺産としてしか残らないようにならないように。紀の川市に移住してくる人たちにそういう土地を提供できるような対策をとってほしい。

３－１－２　公共交通網の整備（23 件）

・　先日、コミュニティーバス停で、ご高齢のご婦人のお二人が大きな荷物を持って、しかも傘をさしてバスを待っておられました。車を持っている人は良いでしょうが、高齢化が進み、これからの高齢化社会を思う時、バス停にベンチや簡単なポーチなどを設置するなどの配慮はできないでしょうか。
・　身体障害を持っているので巡回バスやコミュニティバスの本数を増やしてほしい。
・　地域巡回バスにいつもお世話になっています。お医者さん買い物とありがたく使用させてもらっています。体の不自由な者にも運転手さんが親切にしてくださって喜んでいます。いつまでも走ってほしいと思っています。

３－１－３　道路網の計画的な整備（９件）

・　せめて国道だけでも歩道の充実をしてほしい。
・　地域の道路整備に力を入れてほしい。特にいなか道などスクールバスが安全に走れるように。

３－１－４　水道水の安定的な供給（４件）

・　水道水を出している時、夏場どんどん水温が高くなって熱湯かと思われるぐらいになっているが大丈夫か不安である。

３－１－６　災害に強い安全なまちづくり（１件）

・　下水道の整備ができていないので、将来、地震が起きた時は、心配

３－１－７　美しいふるさと景観のまちづくり（７件）

・　道路（歩道）・河川（堤防）等　美化に努めてほしい
・　農地を放棄している所用者に対し環境保全の面から指導していただくことができれば、景観もよくなると思うのですが・・・

３－２－１　就業しやすい活力ある産業づくり（３件）

・　雇用環境の整備と充実。
・　高齢でも、長期雇用、働く事が可能な限り働ける場所（農業、自営業、会社等）をつくっていただきたい、又は支援していってほしいなと思います。「ものづくり」をブランド化していける地域を目指して欲しいです。

３－２－２　魅力と個性ある便利な商業環境づくり（７件）

・　今後ますます年をとると買い物等に不安。主人が運転出来なくなった時の買物等不安。免許なし。私が自転車で買物にいけるスーパー、店が無い

３－２－３　活力ある農業と食のまちづくり（５件）

・　農業に力を入れて栄えていってほしいと思います。

３－２－４　魅力ある田園観光交流のまちづくり（１件）

・　たま駅長で今や全国区となった貴志駅ですが、あまり地元に恩恵がないように思います。とかく、全国海外からたくさんの方々がお見えになるのですから美福門院の史跡めぐりや西行、粉河寺等等、紀の川市歴史散歩を企画していただき、地元の方々にもうるおいがあればいいのに・・と常々思っております。

政策目標４「環境づくり　環境にやさしいまち」

４－１　生活環境

生活環境の分野では、「ごみの減量・資源化等衛生的な環境づくり」、「下水道整備などによる河川等の水質改善」に関しての意見がありました。

「ごみの減量・資源化等衛生的な環境づくり」に関しては、ごみによる景観の悪化や衛生環境悪化を危惧する意見や、市内のごみの定期回収を求める意見がありました。「下水道整備などによる河川等の水質改善」に関しては下水道整備の早期実施を求める意見がありました。

４－２　自然環境

自然環境の分野では、「水辺の自然ふれあい環境づくり」に関しての意見がありました。下水道整備の早期実施や河川環境の美化を求める意見がありました。

○基本施策ごとの代表的な意見

４－１－１　ごみの減量・資源化等衛生的な環境づくり（13 件）

・　居住地の近くに体育館、プール、元アメニティセンターがありますが周辺・敷地（駐車場）・歩道が草が伸び、ゴミが散乱、前回も意見をお伝えしましたが実行されません。定期的に掃除をしていただけないのでしょうか。
・　荒れ地の雑草と雑木がひどくて、衛生環境の悪化。虫や、小動物が居ついて困っています。行政代執行なども踏まえて検討してほしいです。
・　１年に１から２回は定期的な粗大ごみの回収が必要と思う。

４－１－２　下水道整備などによる河川等の水質改善（３件）

・　下水道の整備を早くしてほしい！

４－２－２　水辺の自然ふれあい環境づくり（２件）

・　昔の川は、水泳も出来る位きれいな川でした。今は、森の様な状況で川ではないです。水害になると、災害に大きな影響があります。この状態を検討して下さい。貴志川をきれいな川にして下さい。よろしくお願い致します。

政策目標５「行財政　健全な行政運営をするまち」

５－１　行財政運営

行財政運営の分野では、「効率的・効果的で健全な行財政運営」に関しての意見がありました。

「効率的・効果的で健全な行財政運営」に関しては、市の事業の効率・適正化、公平な市政運営を求める意見がありました。

５－２　市民サービス

市民サービスの分野では「わかりやすい情報発信と PR 戦略の展開」、「職員の能力向上」に関しての意見がありました。

「わかりやすい情報発信と PR 戦略の展開」に関する意見としては、高齢者に配慮した情報発信、防災無線放送の改善、市の特色を活かした情報発信の促進に関する意見がありました。

「職員の能力向上」に関する意見として、勤務態度に関しての意見が見られました。

○基本施策ごとの代表的な意見

５－１－１　効率的・効果的で健全な行財政運営（27 件）

・　無駄を省き、税金の無駄遣いをしない様にしてほしいです。

５－２－１　職員の能力向上（７件）

・　もっと職員・職場ともに明るい雰囲気であれば足を運びやすいし、協力したくなると思います。

５－２－２　わかりやすい情報発信と PR 戦略の展開（26 件）

・　高齢者にわかりやすい情報提供の方法を考えるべきだと思う。若い世代はネット等で情報収集できるが高齢者は耳もとおく放送を聞きのがしてることも多い。紙面も見にくいと言って読んでいないことが多い。民生委員さんや区長さん等を通じて人対人の情報提供に力を入れてもいいのではないかと思う。
・　防災無線は周りにこだまして何を言っているのか理解できずに、ただの雑音にしか聞こえない。
・　防災行政無線がほとんどきこえない。同じ内容をメール等で配信してほしい。
・　フルーツ王国としてのブランド化を。もっと強くアピールするべきでは？又、他にない食のアイデアを！

参考資料：調査票

平成28年度

紀の川市市民意識調査

紀の川市市民意識調査へのご協力のお願い

市民のみなさまには、日頃から市政にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、紀の川市では、「いきいきと 力をあわせたまちづくり 夢 あふれる 紀の川市」を市の将来像として掲げ、その実現のため、積極的な施策、事業を展開しています。

今回、お送りした『紀の川市市民意識調査』は、市民のみなさまから市のこれまでの取り組みに対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対するお考えをお聞きし、今後の市政運営の基礎資料とするものです。調査結果は、今後の施策の達成度をはかる指標とし、市民のみなさまに満足していただける市政の実現に向けて活用していきます。

つきましては、平成２８年７月２７日現在で、紀の川市にお住まいの満１８歳以上７５歳未満の方を無作為に２，５００人抽出いたしました。

この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果は統計的にのみ処理いたしますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成２８年８月

紀 の 川 市 長

アンケートは、同封の「返信用封筒（切手の貼り付け不要）」に入れ、<u>平成28年8月22（月）まで</u>に投函してください。

ご記入にあたってのお願い

1. 質問には、封筒のあて名となっているご本人さまがお答えください。
2. あて名のご本人さまが記入困難な場合、ご家族の方がご本人さまの考えを尊重してご記入ください。
3. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、普段ご自分が考えていること、または行っていることがあればご意見をお聞かせください。
4. 回答は、あてはまる答えの番号を１つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ番号に○をおつけください。
5. 質問の中には、○をつけた番号により、次の質問が問われるものがありますのでご注意ください。
6. お答えが「その他」の場合には、番号に○をつけ（　）内に内容をお書きください。
7. この調査に関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問合せください。

《問合せ先》
紀の川市　企画部　企画調整課（担当：東（アズマ））
Ｔｅｌ：０７３６－７７－２５１１（内線３５０４）
Ｆａｘ：０７３６－７７－４９１０
E-mail：k030600-001@city.kinokawa.lg.jp

問 1. 紀の川市の住みよさと定住意向について

（1）　あなたにとって、紀の川市を住みよいと感じていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1　住みよい
2　どちらかといえば住みよい
3　どちらかといえば住みにくい
4　住みにくい

（2）　あなたは、これからも紀の川市に住み続けたいですか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1　住み続けたい
2　当分住み続けたい
3　いずれは転居したい
4　すぐにでも転居したい
5　転居する予定である
6　わからない

問 2. 紀の川市のこれからのまちづくりについて

あなたは、次に示すまちづくりの方針のうち、今後の紀の川市にとって何が重要だと思いますか。
<u>以下の1～32のうち重要だと思うものを5つまで選んで、番号に○をつけてください。</u>

1	市民交流や国際交流が盛んなまち	17	生涯学習が盛んなまち
2	地域のコミュニティ活動が盛んなまち	18	だれもが気軽にスポーツを楽しめるまち
3	地域の防災意識・体制が充実しているまち	19	計画的に都市基盤が整備されているまち
4	防犯・交通安全対策が充実しているまち	20	公共交通機関が充実しているまち
5	地域医療・救急医療体制が充実しているまち	21	安全で利用しやすい道が整備されているまち
6	健康づくりの支援が充実しているまち	22	安心して水を使えるまち
7	障がい者が自立して暮らせるまち	23	災害対策が充実しているまち
8	高齢者が安心して暮らせるまち	24	良好な景観が保たれているまち
9	安心して子どもを生み育てることができるまち	25	安心して働くことができるまち
10	地域で支え合って暮らせるまち	26	買い物がしやすく便利なまち
11	人権を尊重するまち	27	活力ある農業が営まれているまち
12	男女がともに支え合うまち	28	観光客がたくさん訪れるまち
13	学校教育が充実しているまち	29	生活環境がきれいに保たれているまち
14	家庭教育が充実しているまち	30	自然環境を保全・活用しているまち
15	青少年が健全に育っているまち	31	効率的・効果的な行財政運営に取り組んでいるまち
16	芸術・文化に親しめるまち	32	わかりやすい情報発信に取り組んでいるまち

問 3. 紀の川市の現在のまちづくりについて

次に示す紀の川市のこれまでの取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか。
項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	満 足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不 満	わからない
(1) 市民交流・国際交流の推進	5	4	3	2	1	0
(2) 地域のコミュニティ活動の推進	5	4	3	2	1	0
(3) 地域の防災意識・体制の充実	5	4	3	2	1	0
(4) 防犯・交通安全対策の充実	5	4	3	2	1	0
(5) 地域医療・救急医療体制の充実	5	4	3	2	1	0
(6) 健康づくりの支援	5	4	3	2	1	0
(7) 障がい者福祉の充実	5	4	3	2	1	0
(8) 高齢者福祉の充実	5	4	3	2	1	0
(9) 子育て支援の充実	5	4	3	2	1	0
(10) 地域福祉の充実	5	4	3	2	1	0
(11) 人権教育・啓発の推進	5	4	3	2	1	0
(12) 男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	0
(13) 学校教育の充実	5	4	3	2	1	0
(14) 家庭教育の充実	5	4	3	2	1	0
(15) 青少年の健全育成	5	4	3	2	1	0
(16) 芸術・文化活動の振興	5	4	3	2	1	0
(17) 生涯学習の推進	5	4	3	2	1	0
(18) スポーツ活動の振興	5	4	3	2	1	0
(19) 都市基盤の整備	5	4	3	2	1	0
(20) 公共交通機関の充実	5	4	3	2	1	0
(21) 道路の整備	5	4	3	2	1	0
(22) 水道の整備	5	4	3	2	1	0
(23) 災害対策の充実	5	4	3	2	1	0
(24) 景観の保全	5	4	3	2	1	0
(25) 雇用環境の整備	5	4	3	2	1	0
(26) 商業の振興	5	4	3	2	1	0
(27) 農業の振興	5	4	3	2	1	0
(28) 観光の振興	5	4	3	2	1	0
(29) 生活環境の保全	5	4	3	2	1	0
(30) 自然環境の保全・活用	5	4	3	2	1	0
(31) 行財政改革の推進	5	4	3	2	1	0
(32) 行政の広報活動の充実	5	4	3	2	1	0

問 4. 紀の川市での日常生活について

紀の川市での日常生活における意識や行動についてあてはまる番号を選んで○をつけてください。

■ 協働・市民交流

(1) あなたは、市民意見を市政に反映するには、どの手法が有効だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 市民意見募集制度(パブリックコメント)
2 市政ポスト(市のホームページ)
3 市民アンケート
4 区長会(自治会)からの要望
5 市政懇談会
6 その他(　　)

(2) あなたは、ボランティア活動(本来の仕事とは別に、自発的に困っている人を助けたり、地域や社会のために時間や労力、技術などを提供する奉仕活動)に参加していますか。
(あてはまる番号を１つ選んで○)

1 参加している　⇒(3)へ
2 参加していない

上記(2)で「1 参加している」と回答した方にお伺いします。

(3) あなたは、具体的にどのようなボランティア活動に参加していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 高齢者に対する活動
2 障がい者(児)に対する活動
3 子育てをする親とその子どもを支援する活動
4 スポーツや芸術に関連した活動
5 公園管理・地域美化活動
6 地域づくり・まちづくり活動
7 災害時支援・防災活動
8 交通安全・防犯活動
9 公民館・学校などでの教育活動
10 国際交流活動
11 その他(　　)

(4) あなたは(あなたの世帯は)、自治区へ加入していますか。(あてはまる番号を１つ選んで○)

1 加入している
2 加入していない　⇒(5)へ
3 わからない

上記(4)で「2 加入していない」と回答した方にお伺いします。

(5) あなたが(あなたの世帯が)自治区へ加入していない理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 必要性を感じない
2 活動内容がわからない
3 活動内容に興味がない
4 忙しくて活動に参加できない
5 会費が高い
6 加入方法がわからない
7 その他(　　)

■ 防災・防犯

（6） あなたのお住まいの地区に自主防災組織はありますか。
また、自主防災組織の活動に参加していますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 自主防災組織があり、活動にも参加したことがある
2 自主防災組織があるが、活動には参加したことがない
3 自主防災組織はない
4 わからない

（7） あなたは、お住まいの地域の避難場所と避難経路を知っていますか。
（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 避難場所・避難経路を知っている
2 避難場所は知っているが、避難経路は知らない
3 避難場所・避難経路は知らない

（8） あなたは、大規模災害に対して水や食糧などの備蓄をしていますか。
（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 1週間分以上の備蓄をしている
2 3日分程度の備蓄をしている
3 1日分程度の備蓄をしている
4 備蓄はしていない
5 その他（ ）

（9） あなたは、紀の川市内で車や自転車で走行中、または徒歩で移動中に危険を感じたことはありますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 ある ⇒（10）へ
2 ない

上記（9）で「1 ある」と回答した方にお伺いします。

（10） あなたが紀の川市内で車や自転車で走行中、または徒歩で移動中にどのようなことが理由で危険を感じましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1 歩道や自転車道が整備されていない
2 交通安全施設（ガードレール、カーブミラーなど）が整備されていない
3 歩行者の交通マナーが悪い
4 自動車の交通マナーが悪い
5 自転車の交通マナーが悪い
6 その他（ ）

（11） 市内で発生する犯罪等を抑制するために効果的なものは、次のうちどれだと思いますか。
（あてはまる番号を２つ以内選んで○）

1 防災行政無線放送
2 市のメール配信サービス
3 防犯カメラの設置
4 防犯パトロールの実施
5 防犯灯、街路灯の設置
6 市のホームページでの啓発
7 消費者教育の実施
8 その他（ ）

■ 医療・保健・福祉

（12） この１年間で、あなたは（あるいはあなたの家族は）、休日や夜間に医療機関を受診したことがありますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 ある
2 ない

（13） あなたは、お住まいの地域の休日や夜間の医療機関の受入体制について満足していますか。
（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 満足している
2 まあ満足している
3 どちらでもない
4 やや不満に感じている ⇒（14）へ
5 不満に感じている ⇒（14）へ
6 わからない

上記（13）で「4 やや不満に感じている」「5 不満に感じている」と回答した方にお伺いします。

（14） あなたが休日や夜間の医療機関の受入体制について不満に感じている理由は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1 専門医がいない
2 待ち時間が長い
3 遠い
4 休日・夜間に対応できる病院が少ない
5 休日・夜間に対応できる病院がわからない
6 その他（ ）

（15） あなたは（あるいはあなたの身近な高齢者は）、必要なときに必要な介護保険や高齢者福祉サービスを受けていると思いますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 受けていると思う
2 ある程度は受けていると思う
3 受けていないと思う
4 どちらともいえない
5 わからない

（16） あなたは、介護が必要になったとき、施設入所を希望しますか、在宅での生活を希望しますか。
（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 施設入所を希望する
2 在宅での生活を希望する
3 わからない
4 その他（ ）

（17） あなたは、地域における子育て環境や支援体制について満足していますか。
（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 満足している
2 まあ満足している
3 どちらでもない
4 やや不満に感じている
5 不満に感じている
6 わからない

（18） 子育てしやすい環境にするために効果的なものは、次のうちどれだと思いますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1 親子で遊べる施設や公園の整備
2 子育てに関する情報提供、相談窓口の充実
3 一時的に子どもを預かる施設やサービスの充実
4 教育・文化水準の向上
5 医療費や教育費、保育料等の子育てに関する財政的な支援
6 地域で子どもを育てる意識の向上
7 病児・病後児保育の充実
8 乳児保育・低年齢児保育・延長保育など保育サービスの充実
9 わからない
10 その他
（ ）

■ 教育・文化

（19） 少子化の進行により、紀の川市内の小･中学校においても、一部の学校を除き、児童生徒数が減少し、小規模化が進んでいます。 あなたは、今後、児童生徒数が減少し続けた場合、どのような教育課題が生じると思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 部活動の種類が限られる
2 競争の機会が限られる
3 多様な人と関わる機会が少ない
4 クラス替えができず人間関係が固定化しやすい
5 （教職員の人数が少ないことから）多様な指導方法をとることが困難になる
6 （異学年の児童生徒を一学級に編成することで）教育の質に不安がある
7 特に課題は感じない
8 わからない
9 その他（ ）

（20） あなたは、趣味の会やグループ活動への参加をはじめ、自主的な学習に取り組んでいますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 取り組んでいる
2 取り組んでいない

（21） あなたが今後、学習したいのはどのような内容ですか。（あてはまる番号を３つ以内選んで○）

1 趣味・教養に関するもの
2 現代的な課題
3 健康・スポーツに関するもの
4 家庭生活・育児に役立つもの
5 職業上必要な知識・技能
6 コンピュータやインターネット
7 特にない
8 その他（ ）

（22） あなたはスポーツ（運動）を定期的にしていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 週２日以上している ⇒(23)へ
2 週１日はしている ⇒(23)へ
3 ほとんどしていない

上記（22）で「1 週２日以上している」「2 週１日はしている」と回答した方にお伺いします。

（23） あなたがスポーツ（運動）をするとき主に利用している施設や場所はどこですか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 市内の公共施設
2 市内の民間施設
3 市外の公共施設
4 市外の民間施設
5 その他（ ）

■ 都市基盤

（24） あなたは、公共交通機関をどの程度利用していますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 ほぼ毎日利用している ⇒(25)へ
2 週２～3 回程度利用している ⇒(25)へ
3 週１回程度利用している ⇒(25)へ
4 ほとんど利用していない ⇒(26)へ

上記（24）で「1 ほぼ毎日利用している」「2 週２～3 回程度利用している」「3 週１日程度利用している」と回答した方にお伺いします。

（25） あなたがよく利用している公共交通機関はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 地域巡回バス（紀の川市内を巡回）
2 コミュニティバス（紀の川市と岩出市を巡回）
3 一般路線バス
4 鉄道（和歌山電鐵貴志川線）
5 鉄道（JR和歌山線）
6 その他（ ）

上記（24）で「4 ほとんど利用していない」と回答した方にお伺いします。

（26） あなたが公共交通機関を利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 便数が少ない（利用したい時間に便が無い）
2 目的地への便がない
3 目的地まで時間がかかる
4 他の交通手段（自家用車など）がある
5 運賃が高い
6 その他（ ）

（27） あなたは、近所の空き家の状況をどのように感じていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 多くなった ⇒(28)へ
2 少なくなった
3 変わらない
4 わからない
5 その他（ ）

上記（27）で「1 多くなった」と回答した方にお伺います。

（28） あなたは、空き家が多くなったことでどのような影響があると感じていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 衛生環境の悪化
2 雑草による景観の悪化
3 不法侵入などによる治安の悪化
4 防災上の不安
5 特にない
6 その他（ ）

■農業・産業振興

（29） あなたは、フルーツをどの程度の頻度で食べていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 ほぼ毎日
2 週に 2～3 日程度
3 週に１日程度
4 ほとんど食べていない

（30） あなたは、「紀の川市はフルーツのまち」というイメージがありますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 そう思う
2 まあそう思う
3 あまりそう思わない
4 そう思わない
5 わからない

■行財政運営

（31） あなたは、市の財政状況についてどのように思いますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 財政的に豊かである
2 財政的に厳しい
3 興味がない
4 わからない
5 その他（ ）

（32） あなたは、市の行財政改革についてどのように感じていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 改革が進み成果が出ている
2 改革は進んでいるが成果は出ていない
3 改革は進んでいないため、見直しが必要である
4 興味がない
5 わからない
6 その他（ ）

（33） あなたは、紀の川市の最上位計画である長期総合計画の内容について知っていますか。（あてはまる番号を１つ選んで○）

1 長期総合計画という名前もその内容も知っている
2 長期総合計画という名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3 長期総合計画という名前もその内容も知らない
4 興味がない
5 わからない

（34） あなたは、市の情報をどのような媒体で入手していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 市のホームページ
2 市の広報紙
3 防災行政無線
4 電話での問い合わせ
5 家族や友人との会話
6 市のメール配信サービス
7 市のフェイスブック
8 新聞・雑誌
9 テレビ・ラジオ
10 その他（ ）

（35） 今後、市が情報発信するにあたって、充実・強化していく必要があると考えられる媒体はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 市のホームページ
2 市の広報紙
3 防災行政無線
4 市のメール配信サービス
5 市のフェイスブック
6 新聞・雑誌
7 テレビ・ラジオ
8 その他（ ）

問 5. 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

紀の川市では、昨年、人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるため、「紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現在、取り組みを進めているところです。そこで、次に示す４つのテーマに関して、今後どのような取り組みにより一層力を入れていくべきとお考えですか。各テーマで２つずつ選んで○をつけてください。

テーマ	具体的な取り組み内容
（1）地域資源を活かした魅力あるまち（※次の具体的な取り組み内容から２つ選んで○）	1 （フルーツをはじめとした）地域ブランド化
	2 高等教育機関（近畿大学生物理工学部など）との連携
	3 （豊かな自然環境、大阪都市圏近郊である立地条件を活かした）移住定住の促進
	4 地域資源の積極的なPR活動
	5 各種体験型観光や新たな観光ルートの構築
	6 観光基盤の整備
	7 その他（ ）
（2）魅力ある仕事・職場のあるまち（※次の具体的な取り組み内容から２つ選んで○）	1 魅力ある農業を実現するための農業経営基盤の強化
	2 フルーツの産地としての競争力強化
	3 農家の後継者育成、担い手育成
	4 市内企業の振興・活性化
	5 市内企業の未来を担う地元人材の確保
	6 企業誘致の強化
	7 起業・創業の支援
	8 その他（ ）
（3）若い世代から選ばれるまち（※次の具体的な取り組み内容から２つ選んで○）	1 出会い・結婚の支援
	2 妊娠・出産環境の充実
	3 子育て支援の充実
	4 特色ある学校教育の実践
	5 本市への郷土愛の醸成
	6 働きやすく暮らしやすい環境づくり
	7 その他（ ）
（4）安全安心で暮らし続けたいまち（※次の具体的な取り組み内容から２つ選んで○）	1 地域防犯力の向上
	2 「自助・共助・公助」による災害対応力の強化
	3 健康寿命の延伸（医療・保健・福祉等の充実）
	4 地域での交流や助け合い、つながりづくりの推進
	5 京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進
	6 公共交通の充実
	7 道路や上下水道、公共施設などの整備
	8 その他（ ）

問 6. あなた自身のことについて

次に示すあなた自身のことについてあてはまる番号に○をつけてください。

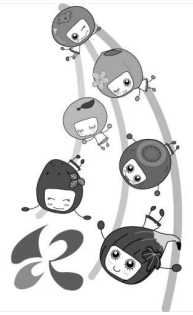
(1)あなたの性別は？ (番号を**1つ選んで**○をつけてください)	1. 男　　2. 女
(2)あなたの年齢は？ (**平成28年4月1日現在の満年齢を**記入してください)	満 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 歳
(3)あなたの居住地は？ (番号を**1つ選んで**○をつけてください) ※わからない場合はお住まいの町字名をご記入してください。	1. 打田地域 2. 粉河地域 3. 那賀地域 4. 桃山地域 5. 貴志川地域 6. その他(地域名：紀の川市＿＿＿＿＿＿)
(4)あなたは紀の川市(合併前の旧町を含む)にお住まいになって何年になりますか？ (番号を**1つ選んで**○をつけてください)	1. 2年未満 2. 2年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上
(5)あなたの職業は？ (番号を**1つ選んで**○をつけてください)	1. 農林業(専業または農林業が主体) 2. 会社員 3. 公務員・団体職員 4. 商業・工業・サービス業の自営業 5. 自由業・会社役員 6. 学生 7. パート・アルバイト 8. 家事専業 9. 無職 10. その他(具体的に記入：　　)
(6)あなたが同居する家族の家族構成は？ (番号を**1つ選んで**○をつけてください)	1. 一人暮らし 2. 夫婦(二人) 3. 親子(2世代) 4. 親子(3世代) 5. その他(具体的に記入：　　)
(7-1)あなたには現在養育中の子どもがいますか？(番号を**1つ選んで**○をつけてください)	1. いる　　2. いない
(7-2)(7-1)で「1　いる」と答えた方にお聞きします。 1～4にそれぞれ何人該当しますか？ また合計人数も記入してください。 (**該当するものすべてについてそれぞれの人数を数字**で記入してください)	1. 小学生未満 ＿＿＿＿＿＿ 人 2. 小学生 ＿＿＿＿＿＿ 人 3. 中学生 ＿＿＿＿＿＿ 人 4. 高校生以上 ＿＿＿＿＿＿ 人 合計 ＿＿＿＿＿＿ 人

(8)あなたの同居の家族(**あなた以外**)に65歳以上の高齢者がいますか？ (番号を**1つ選んで**○をつけてください)	1. いる　　2. いない
(9-1)　あなたは現時点で、長期的な病気や障害を抱えていますか？ (番号を**1つ選んで**○をつけてください)	1. 抱えている　　2. 抱えていない
(9－2)　あなたの同居の家族(**あなた以外**)は長期的な病気や障害を抱えていますか？ (番号を**1つ選んで**○をつけてください)	1. 抱えている　　2. 抱えていない

(10)　あなたの生活行動範囲についておたずねします。
あなたの通勤・通学先や買物などの主な行き先はどこですか？
(記入例を参考に、各項目(①～④))について、番号を**1つ選んで**○をつけてください)

目的＼主な行き先	紀の川市内					紀の川市外			そのような行動をしていない
	打田地域	粉河地域	那賀地域	桃山地域	貴志川地域	和歌山市	岩出市	その他(市町村名を具体的に記入してください)	
記入例)その1	1	2	3	4	5	6	7	8(　　)	0
記入例)その2	1	2	3	4	5	6	7	8(泉南市)	0
①通勤・通学	1	2	3	4	5	6	7	8(　　)	0
②食料品・日用品の買物	1	2	3	4	5	6	7	8(　　)	0
③嗜好品や高価な物の買物	1	2	3	4	5	6	7	8(　　)	0
④レストラン・飲食店	1	2	3	4	5	6	7	8(　　)	0

その他、市政に関することでご意見ご感想などございましたら、ぜひご記入をお願いいたします。



ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒(切手不要)に入れて8月22日(月)までに郵便ポストに投函してください。